

# 法学部法律学科課程表

2023年度以降入学生適用

※開講学年前期後期欄 { ●—原則としてその学期で開講。  
○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。  
空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												備考				
			1年			2年			3年			4年							
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位					
教養教育科目	T G ベーシック	人間的基礎	聖書を学ぶ	半期	●		2											○	
			キリスト教の歴史と思想	半期		●	2												○
			キリスト教学A (キリスト教と倫理)	半期											2				○ 2単位選択必修。4単位まで卒業単位に算入することができる。
			キリスト教学B (キリスト教と宗教)	半期										2					
			キリスト教学C (キリスト教と文化)	半期										2					
			キリスト教学D (キリスト教と現代社会)	半期									2						
			共生社会と倫理	半期				○	○	2									○ 2単位選択必修
		科学技術社会と倫理	半期				○	○	2										
		よき社会生活のためにA (法律)	半期	○	○	2												○ 2単位選択必修	
		よき社会生活のためにB (福祉)	半期	○	○	2													
		よき社会生活のためにC (健康)	半期	○	○	2													
		知的基礎	リーディング&ライティング	半期	○	○	2												○ 2単位選択必修
			クリティカル・シンキング	半期	○	○	2												
			情報リテラシー	半期	○	○	2												○
	統計的思考の基礎		半期	○	○	2												○ 2単位選択必修	
	科学的思考の基礎		半期	○	○	2													
	課題探究		キャリア形成の探究	半期	○	○	2												○ 6単位選択必修
		東北学院史の探究	半期							○	○	2							
		データ活用による探究	半期				○	○	2										
		地域ボランティア活動の探究	半期	○	○	2													
		地域課題の探究	半期				○	○	2										
	課題探究演習	半期		○	2														
	共通教養科目	人文系	哲学	半期	○	○	2											○ 4単位選択必修	
			芸術論	半期	○	○	2												
			文化の歴史	半期	○	○	2												
			音楽	半期	○	○	2												
			倫理学	半期	○	○	2												
			文学	半期	○	○	2												
歴史学			半期	○	○	2													
文化人類学			半期	○	○	2													
社会系		心理学	半期	○	○	2											○ 4単位選択必修		
		社会学	半期	○	○	2													
		経営学	半期	○	○	2													
		経済学	半期	○	○	2													
		地理学	半期	○	○	2													
		社会福祉論	半期	○	○	2													
自然系	数理の科学	半期	○	○	2											○ 4単位選択必修			
	記号論理学	半期	○	○	2														
	生命の科学	半期	○	○	2														
	環境の科学	半期	○	○	2														
	自然の科学	半期	○	○	2														
	先端科学と技術	半期	○	○	2														
外国語科目	第1類	英語 I A	半期	●		1											○		
		英語 I B	半期		●	1											○		
		英語 II A	半期				●		1								○		
		英語 II B	半期					●		1							○		

※開講学年前期後期欄 { ●—原則としてその学期で開講。  
 ○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。  
 空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												備考	
			1年			2年			3年			4年				
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位		
外国語科目	第2類	ドイツ語ⅠA	半期	●		2										週2回開講科目 ※Bの選択にあたってはAと同一の外国語を履修すること。
		フランス語ⅠA	半期	●		2										
		中国語ⅠA	半期	●		2										
		韓国・朝鮮語ⅠA	半期	●		2										
		ドイツ語ⅠB	半期		●	2										
		フランス語ⅠB	半期		●	2										
		中国語ⅠB	半期		●	2										
		韓国・朝鮮語ⅠB	半期		●	2										
		ドイツ語ⅡA	半期				●		1							
		フランス語ⅡA	半期				●		1							
		中国語ⅡA	半期				●		1							
		韓国・朝鮮語ⅡA	半期				●		1							
		ドイツ語コミュニケーションA	半期				●		1							
		フランス語コミュニケーションA	半期				●		1							
		中国語コミュニケーションA	半期				●		1							
		韓国・朝鮮語コミュニケーションA	半期				●		1							
		ドイツ語ⅡB	半期					●	1							
		フランス語ⅡB	半期					●	1							
		中国語ⅡB	半期					●	1							
		韓国・朝鮮語ⅡB	半期					●	1							
	ドイツ語コミュニケーションB	半期					●	1								
	フランス語コミュニケーションB	半期					●	1								
	中国語コミュニケーションB	半期					●	1								
	韓国・朝鮮語コミュニケーションB	半期					●	1								
	ドイツ語ⅢA	半期							●		1					
	フランス語ⅢA	半期							●		1					
	中国語ⅢA	半期							●		1					
	韓国・朝鮮語ⅢA	半期							●		1					
	ドイツ語ⅢB	半期								●		1				
	フランス語ⅢB	半期								●		1				
中国語ⅢB	半期								●		1					
韓国・朝鮮語ⅢB	半期								●		1					
第3類	ベーシック英語	半期	●		1										「ベーシック英語」履修を指示された者は、「ベーシック英語」履修後に1年後期開講の「英語ⅠA」を履修すること。ただし、「ベーシック英語」は進級・卒業要件には含まない。	
	英語コミュニケーション	半期	○	○	2										週2回開講	
	英語ⅢA	半期							●		1					
	英語ⅢB	半期							●		1					
保健体育科目	スポーツ実技A	半期	○	○	1											
	スポーツ実技B	半期	○	○	1											
	体育講義	半期	○	○	2											
留学科目	海外研究A	通年				●	●	4								
	海外研究B	半期		○	2										4単位まで卒業単位に算入	
	海外研究C	半期		○	1											
外国人及び帰国生科目	日本語ⅠA	半期	○		1											
	日本語ⅠB	半期		○	1											
	日本語ⅡA	半期				○		1								
	日本語ⅡB	半期					○	1								

※開講学年前期後期欄 { ●—原則としてその学期で開講。  
 ○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。  
 空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												備考	
			1年			2年			3年			4年				
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位		
導入科目	リーガル・リサーチ	半期	●		2											◎ 4単位選択必修
	法学の基礎	半期	●		2											
	政治学の基礎	半期	●		2											
第1類	憲法Ⅰ	半期		●	2											
	憲法Ⅱ	半期		●	2											
	憲法Ⅲ	半期				●		2								
	憲法Ⅳ	半期					●		2							
	行政法総論Ⅰ	半期				●		2								
	行政法総論Ⅱ	半期					●		2							
	租税法Ⅰ	半期							●		2					
	租税法Ⅱ	半期								●		2				
	行政法各論Ⅰ	半期							●		2					
	行政法各論Ⅱ	半期								●		2				
	行政救済法	半期							●		2					
	経済法	半期							●		2					
	環境法	半期								●		2				
	社会保障法	半期								●		2				
第2類	民法入門	半期	●		2											
	民法総則Ⅰ	半期		●	2											
	民法総則Ⅱ	半期				●		2								
	物権法Ⅰ	半期					●		2							
	物権法Ⅱ	半期								●		2				
	債権法総論Ⅰ	半期							●		2					
	債権法総論Ⅱ	半期								●		2				
	債権法各論Ⅰ	半期				●		2								
	債権法各論Ⅱ	半期							●		2					
	家族法Ⅰ	半期				●		2								
	家族法Ⅱ	半期					●		2							
	会社法Ⅰ	半期					●		2							
	会社法Ⅱ	半期							●		2					
	会社法Ⅲ	半期								●		2				
	商法Ⅰ（総論）	半期							●		2					
	商法Ⅱ（企業取引法）	半期							●		2					
	商法Ⅲ（保険法）	半期								●		2				
	金融法	半期								●		2				
	民事手続法入門	半期					●		2							
	民事訴訟法Ⅰ	半期							●		2					
	民事訴訟法Ⅱ	半期								●		2				
	民事執行法・保全法	半期								●		2				
	倒産法	半期							●		2					
労働法Ⅰ	半期							●		2						
労働法Ⅱ	半期								●		2					
知的財産法Ⅰ	半期							●		2						
知的財産法Ⅱ	半期								●		2					
第3類	刑法総論Ⅰ	半期				●		2								
	刑法総論Ⅱ	半期					●		2							
	刑法各論Ⅰ	半期							●		2					
	刑法各論Ⅱ	半期								●		2				
	刑事訴訟法Ⅰ	半期							●		2					
	刑事訴訟法Ⅱ	半期								●		2				
	刑事政策	半期							●		2					

※開講学年前期後期欄 { ●—原則としてその学期で開講。  
 ○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。  
 空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												備考			
			1年			2年			3年			4年						
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位				
専門教育科目	第4類	法哲学Ⅰ	半期						●		2							
		法哲学Ⅱ	半期							●		2						
		法思想史	半期							●		2						
		西洋法制史Ⅰ	半期							●		2						
		西洋法制史Ⅱ	半期							●		2						
		日本法と外国法	半期							●		2						
	第5類	国際法Ⅰ	半期				●		2									
		国際法Ⅱ	半期					●	2									
		国際法Ⅲ	半期							●		2						
		国際法Ⅳ	半期								●	2						
		国際法Ⅴ	半期								●	2						
		国際私法	半期								●	2						
	第6類	政治学Ⅰ	半期								●		2					
		政治学Ⅱ	半期								●		2					
		国際政治論	半期								●		2					
		地方自治論Ⅰ	半期								●		2					
		地方自治論Ⅱ	半期								●		2					
		行政学Ⅰ	半期								●		2					
		行政学Ⅱ	半期								●		2					
	第7類	基礎演習Ⅰ	半期		●	2												
		基礎演習Ⅱ	半期						2									
		演習一部	通年							●	●	4					◎	
		演習二部(卒業研究・論文)	通年										●	●	4		◎	
		外国書講読	通年								●	●	4					
		法曹養成実習Ⅰ	半期		●	2												
		法曹養成実習Ⅱ	通年				●	●	2									
	法曹養成実習Ⅲ	通年								●	●	2						
	第8類	経済原論Ⅰ	半期				●		2									
		経済原論Ⅱ	半期					●	2									
		国際経済論Ⅰ	半期				●		2									
国際経済論Ⅱ		半期					●	2										
財政学Ⅰ		半期								●		2						
財政学Ⅱ		半期									●	2						
社会保障論Ⅰ		半期								●		2						
社会保障論Ⅱ		半期									●	2						
法学専門技能		半期										2						
第9類	専門特殊講義	半期									2							
教育職員免許状の教科に関する科目	日本史要説	半期						2										
	外国史要説	半期						2										
	地誌学概説	半期									2							
	地理学概説	半期						2										
	日本近現代史	半期						2										
	民俗学概説Ⅰ	半期				●		2										
	民俗学概説Ⅱ	半期					●	2										
	江戸から明治へ	半期				●		2										
	西洋中世史	半期							●		2							
	西洋近代史	半期								●	2							
	経営史Ⅰ	半期							●		2							
	経営史Ⅱ	半期								●	2							
	経済史Ⅰ	半期							●		2							
	経済史Ⅱ	半期								●	2							

第8類から12単位まで卒業所要単位に算入することを認める

※開講学年前期後期欄 { ●—原則としてその学期で開講。  
○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。  
空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												備考	
			1年			2年			3年			4年				
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位		
教職等に関する科目	現代教職論	半期			2											◇
	教育基礎論	半期	●		2											◇
	教育の制度と経営	半期		●	2											◇
	教育心理学	半期						2								◇
	教育課程論	半期				●		2								◇
	道德教育の理論と方法	半期						2								☆
	教育の方法と技術	半期						2								◇
	I C T活用の理論と方法	半期									2					◇
	教育相談の理論と方法	半期						2								◇
	生徒指導・進路指導の理論と方法	半期						2								◇
	社会・地理歴史科教育法(概論・理論)	半期					●	2								※
	社会・公民科教育法(概論・理論)	半期					●	2								※
	社会・地理歴史科教育法(実践)	半期								●	2					※
	社会・公民科教育法(実践)	半期								●	2					※
	社会・地理歴史科教育法(応用)	半期							●		2					※
	社会・公民科教育法(応用)	半期							●		2					※
	特別支援教育論	半期									2					☆
	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法	半期									2					◇
	介護体験実習	通年							●	●	2					☆
	教育実習Ⅰ	通年												3		◇
教育実習Ⅱ	通年												2		☆	
教職実践演習(中・高)	半期										●		2		◇	

## 法律学科卒業要件

## コース別卒業要件

卒業に必要な最低修得単位数

分類		単位数	
教養教育科目	T Gベーシック	人間的基礎	10 必修4単位 選択必修6単位
		知的基礎	6 必修2単位 選択必修4単位
		課題探究	6 選択必修6単位
	共通教養科目	人文系	4 選択必修4単位
		社会系	4 選択必修4単位
		自然系	4 選択必修4単位
外国語科目	第1類	4 必修	
教養教育科目、外国語科目第2類・第3類(「ベーシック英語」を除く)、保健体育科目 留学科目(4単位まで)、他学部・他大学開講非専門教育科目		8	
専門教育科目	導入科目	4	選択必修
専門教育科目、他学部・他大学開講専門教育科目、 単位互換の協定を締結している他大学開講科目		74	「演習一部」「演習二部(卒業研究・論文)」必修
合計		124	

	政策・行政	企業法務	法律専門職
導入科目	4 <sup>注2</sup>	4 <sup>注2</sup>	4 <sup>注2</sup>
第1類	8	6	8
第2類	16	18	16
第3類	4	2	8
第4類			
第5類			
第6類	4		
第7類	8 <sup>注3</sup>	8 <sup>注3</sup>	8 <sup>注3</sup>
小計	44	38	44
残り単位数 <sup>注1</sup>	34	40	34

注1 専門教育科目 第8類からは12単位まで算入を認める。また、他学部・他大学開講専門教育科目については16単位まで算入を認める。

注2 導入科目から6単位を取得した場合には、2単位を残り単位数に算入する。

注3 「演習一部」および「演習二部(卒業研究・論文)」は必修。早期卒業には適用しない。

## 〈カリキュラムマップの見方〉

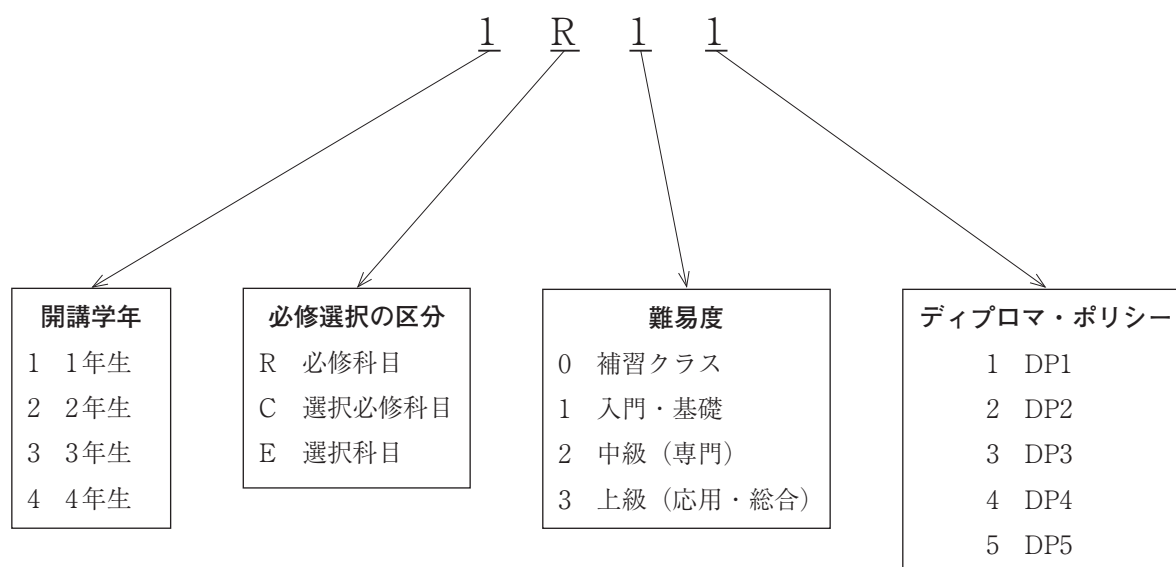
カリキュラムマップは、学科課程表にある各科目が、全学共通の5つの学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー：DP）のうちどれを達成するために置かれているかを示している表です。表の左から「科目ナンバリング」、「科目名」、「学位授与の方針の各項目」の順に並んでおり、学位授与の方針の項目について◎は「その科目がその方針の達成を最も重視していること」を表し、○は「その科目がその方針の達成を重視していること」を表しています。なお、DP5の細項目は、各学科の専門科目の学修によって達成を目指している方針・目標となります。

科目を履修する際には、カリキュラムマップを参考にして、その科目が大学における学修全体の中でどのような意味・目標をもっているかを理解し、履修の順序についてもしっかりと計画を立てておくことが大切です。

## 〈科目ナンバリングの見方〉

科目ナンバリングとは、その科目の性格を端的に示す記号で、以下のような情報から成っています。

右端の「ディプロマ・ポリシー」とは、その科目が最も達成しようとしている方針（DP）がどれかを示しています。



(1) 法学部 法律学科 カリキュラムマップ (学位授与の方針との対応)

ナンバリング	科目名	全学共通の学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)				
		1	2	3	4	5
		現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えを ふまえた考察がで きる (現代をよく 生きる)	高度な知的活動に 必要な汎用的諸技 能・能力及び英語 力を活用できる (汎 用的技能・能力)	課題を発見し、そ の解決のために学 修成果を活用して 取り組むことがで きる (課題発見・ 解決)	ものごとを広く多 様な視点から認識 し、異なる認識・ 思考方法や価値観 に理解を示すこと ができる (多面的 認識、思考)	専攻分野の学修成 果を活用及び説明 できる (専門分野 の学修)
1R11	聖書を学ぶ	◎				
1R11	キリスト教の歴史と思想	◎				
3C21	キリスト教学 A (キリスト教と倫理)	◎				
3C21	キリスト教学 B (キリスト教と宗教)	◎				
3C21	キリスト教学 C (キリスト教と文化)	◎				
3C21	キリスト教学 D (キリスト教と現代社会)	◎				
2C11	共生社会と倫理	◎			○	
2C11	科学技術社会と倫理	◎			○	
1C11	よき社会生活のために A (法律)	◎			○	
1C11	よき社会生活のために B (福祉)	◎			○	
1C11	よき社会生活のために C (健康)	◎			○	
1C12	リーディング&ライティング		◎			
1C12	クリティカル・シンキング		◎			
1R12	情報リテラシー		◎		○	
1C12	統計的思考の基礎		◎		○	
1C12	科学的思考の基礎		◎		○	
1C13	キャリア形成の探究	○		◎		
3C13	東北学院史の探究	○		◎		
2C23	データ活用による探究		○	◎		
1C13	地域ボランティア活動の探究	○		◎		
2C23	地域課題の探究		○	◎	○	
1C23	課題探究演習		○	◎		
1C14	哲学				◎	
1C14	芸術論	○			◎	
1C14	文化の歴史				◎	
1C14	音楽	○			◎	
1C14	倫理学				◎	
1C14	文学				◎	
1C14	歴史学	○			◎	
1C14	文化人類学	○			◎	
1C14	言語論				◎	
1C14	心理学				◎	
1C14	社会学				◎	
1C14	経営学				◎	
1C14	経済学				◎	
1C14	地理学				◎	
1C14	社会福祉論				◎	
1C14	ジェンダー論				◎	
1C14	東北地域論				◎	
1C14	数理の科学				◎	
1C14	記号論理学		○		◎	
1C14	生命の科学				◎	
1C14	環境の科学				◎	
1C14	自然の科学				◎	
1C14	先端科学と技術				◎	
1C14	AI 社会の基礎		○		◎	
1R12	英語 I A		◎		○	
1R12	英語 I B		◎		○	
2R22	英語 II A		◎		○	
2R22	英語 II B		◎		○	
1E12	ドイツ語 I A		◎		○	
1E12	フランス語 I A		◎		○	
1E12	中国語 I A		◎		○	
1E12	韓国・朝鮮語 I A		◎		○	
1E12	ドイツ語 I B		◎		○	
1E12	フランス語 I B		◎		○	
1E12	中国語 I B		◎		○	
1E12	韓国・朝鮮語 I B		◎		○	
2E22	ドイツ語 II A		◎		○	
2E22	フランス語 II A		◎		○	



ナンバリング	科目名	全学共通の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）				
		1	2	3	4	5
		現代をよく生きることについて、キリスト教の教えをふまえた考察ができる（現代をよく生きる）	高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる（汎用的技能・能力）	課題を発見し、その解決のために学修成果を活用して取り組むことができる（課題発見・解決）	ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる（多面的認識、思考）	専攻分野の学修成果を活用及び説明できる（専門分野の学修）
2E22	中国語Ⅱ A		○		○	
2E22	韓国・朝鮮語Ⅱ A		○		○	
2E22	ドイツ語コミュニケーション A		○		○	
2E22	フランス語コミュニケーション A		○		○	
2E22	中国語コミュニケーション A		○		○	
2E22	韓国・朝鮮語コミュニケーション A		○		○	
2E22	ドイツ語Ⅱ B		○		○	
2E22	フランス語Ⅱ B		○		○	
2E22	中国語Ⅱ B		○		○	
2E22	韓国・朝鮮語Ⅱ B		○		○	
2E22	ドイツ語コミュニケーション B		○		○	
2E22	フランス語コミュニケーション B		○		○	
2E22	中国語コミュニケーション B		○		○	
2E22	韓国・朝鮮語コミュニケーション B		○		○	
3E32	ドイツ語Ⅲ A		○		○	
3E32	フランス語Ⅲ A		○		○	
3E32	中国語Ⅲ A		○		○	
3E32	韓国・朝鮮語Ⅲ A		○		○	
3E32	ドイツ語Ⅲ B		○		○	
3E32	フランス語Ⅲ B		○		○	
3E32	中国語Ⅲ B		○		○	
3E32	韓国・朝鮮語Ⅲ B		○		○	
1E02	ベーシック英語		○		○	
1E12	英語コミュニケーション		○		○	
3E32	英語Ⅲ A		○		○	
3E32	英語Ⅲ B		○		○	
1E11	スポーツ実技 A	○				
1E11	スポーツ実技 B	○				
1E12	体育講義		○			
2E32	海外研究 A		○		○	
1E22	海外研究 B		○		○	
1E12	海外研究 C		○		○	
1E12	日本語Ⅰ A		○			
1E12	日本語Ⅰ B		○			
2E12	日本語Ⅱ A		○			
2E12	日本語Ⅱ B		○			
1C15	リーガル・リサーチ					○
1C15	法学の基礎					○
1C15	政治学の基礎					○
1E25	憲法Ⅰ					○
1E25	憲法Ⅱ					○
2E25	憲法Ⅲ					○
2E25	憲法Ⅳ					○
2E25	行政法総論Ⅰ					○
2E25	行政法総論Ⅱ					○
3E25	租税法Ⅰ					○
3E25	租税法Ⅱ					○
3E25	行政法各論Ⅰ					○
3E25	行政法各論Ⅱ					○
3E35	行政救済法					○
3E25	経済法					○
3E25	環境法					○
3E25	社会保障法					○
1E25	民法入門					○
1E25	民法総則Ⅰ					○
2E25	民法総則Ⅱ					○
2E25	物権法Ⅰ					○
3E35	物権法Ⅱ					○
3E25	債権法総論Ⅰ					○
3E25	債権法総論Ⅱ					○



ナンバリング	科目名	全学共通の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）				
		1	2	3	4	5
		現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えを ふまえた考察がで きる（現代をよく 生きる）	高度な知的活動に 必要な汎用的諸技 能・能力及び英語 力を活用できる（汎 用的技能・能力）	課題を発見し、そ の解決のために学 修成果を活用して 取り組むことがで きる（課題発見・ 解決）	ものごとを広く多 様な視点から認識 し、異なる認識・ 思考方法や価値観 に理解を示すこと ができる（多面的 認識、思考）	専攻分野の学修成 果を活用及び説明 できる（専門分野 の学修）
2E25	債権法各論Ⅰ				○	
3E25	債権法各論Ⅱ				○	
2E15	家族法Ⅰ				○	
2E25	家族法Ⅱ				○	
2E25	会社法Ⅰ				○	
3E25	会社法Ⅱ				○	
3E25	会社法Ⅲ				○	
3E25	商法Ⅰ（総論）				○	
3E25	商法Ⅱ（企業取引法）				○	
3E25	商法Ⅲ（保険法）				○	
3E25	金融法				○	
2E15	民事手続法入門				○	
3E25	民事訴訟法Ⅰ				○	
3E25	民事訴訟法Ⅱ				○	
3E35	民事執行法・保全法				○	
3E35	倒産法				○	
3E25	労働法Ⅰ				○	
3E25	労働法Ⅱ				○	
3E25	知的財産法Ⅰ				○	
3E25	知的財産法Ⅱ				○	
2E25	刑法総論Ⅰ				○	
2E25	刑法総論Ⅱ				○	
3E25	刑法各論Ⅰ				○	
3E25	刑法各論Ⅱ				○	
3E25	刑事訴訟法Ⅰ				○	
3E25	刑事訴訟法Ⅱ				○	
3E25	刑事政策				○	
3E25	法哲学Ⅰ				○	
3E25	法哲学Ⅱ				○	
3E25	法思想史				○	
3E25	西洋法制史Ⅰ				○	
3E25	西洋法制史Ⅱ				○	
3E25	日本法と外国法				○	
2E25	国際法Ⅰ				○	
2E25	国際法Ⅱ				○	
3E25	国際法Ⅲ				○	
3E25	国際法Ⅳ				○	
3E35	国際法Ⅴ				○	
3E25	国際私法				○	
3E25	政治学Ⅰ				○	
3E25	政治学Ⅱ				○	
3E25	国際政治論				○	
3E25	地方自治論Ⅰ				○	
3E25	地方自治論Ⅱ				○	
3E25	行政学Ⅰ				○	
3E25	行政学Ⅱ				○	
1E15	基礎演習Ⅰ				○	
2E15	基礎演習Ⅱ				○	
3R24	演習一部			○	○	
4R34	演習二部（卒業研究・論文）			○	○	
3E24	外国書講読			○	○	
1E25	法曹養成実習Ⅰ				○	
2E25	法曹養成実習Ⅱ				○	
3E35	法曹養成実習Ⅲ				○	
2E24	経済原論Ⅰ			○		
2E24	経済原論Ⅱ			○		
2E24	国際経済論Ⅰ			○		
2E24	国際経済論Ⅱ			○		
3E24	財政学Ⅰ			○		
3E24	財政学Ⅱ			○		

ナンバリング	科目名	全学共通の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）				
		1	2	3	4	5
		現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えを ふまえた考察がで きる（現代をよく 生きる）	高度な知的活動に 必要な汎用的諸技 能・能力及び英語 力を活用できる（汎 用的技能・能力）	課題を発見し、そ の解決のために学 修成果を活用して 取り組むことがで きる（課題発見・ 解決）	ものごとを広く多 様な視点から認識 し、異なる認識・ 思考方法や価値観 に理解を示すこと ができる（多面的 認識、思考）	専攻分野の学修成 果を活用及び説明 できる（専門分野 の学修）
3E24	社会保障論Ⅰ				○	
3E24	社会保障論Ⅱ				○	
3E25	法学専門技能					○
3E25	専門特殊講義					○
2E24	日本史要説				○	
2E24	外国史要説				○	
3E24	地誌学概説				○	
2E24	地理学概説				○	
2E24	日本近現代史				○	
2E24	民俗学概論Ⅰ				○	
2E24	民俗学概論Ⅱ				○	
2E24	江戸から明治へ				○	
3E24	西洋中世史				○	
3E24	西洋近代史				○	
3E24	経営史Ⅰ				○	
3E24	経営史Ⅱ				○	
3E24	経済史Ⅰ				○	
3E24	経済史Ⅱ				○	
1E14	現代教職論				○	
1E14	教育基礎論				○	
1E14	教育の制度と経営				○	
2E24	教育心理学				○	
2E24	教育課程論				○	
2E24	道徳教育の理論と方法				○	
2E24	教育の方法と技術				○	
3E34	ICT活用の理論と方法				○	
2E24	教育相談の理論と方法				○	○
2E24	生徒指導・進路指導の理論と方法				○	○
2E35	社会・地理歴史科教育法（概論・理論）				○	○
2E35	社会・公民科教育法（概論・理論）				○	○
3E35	社会・地理歴史科教育法（実践）				○	○
3E35	社会・公民科教育法（実践）				○	○
3E35	社会・地理歴史教育法（応用）				○	○
3E35	社会・公民科教育法（応用）				○	○
3E34	特別支援教育論				○	○
3E34	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法				○	○
3E24	介護体験実習				○	
4E33	教育実習Ⅰ			○		
4E33	教育実習Ⅱ			○		
4E33	教職実践演習（中・高）			○		

(2) 法学部 法律学科 カリキュラムマップ (専門分野の学修成果との対応)

ナンバリング	専門科目	専門科目が目指す学修成果					
		1	2	3	4	5	6
		法の支配及び政治主義・立憲主義の理解。	法分野の基本的原理を把握し、その法を運用する能力を身に付ける。	日本法を基礎として、主要な実定法の体系を把握し、その内容を理解する。	一般的な法的問題について、法的要件を整理し、法的結論を導き出すことができる。	法的解釈の論理を把握し、法的結論を導き出すことができる。	新しい社会的状況に対応し、法的解決案を提案することができる。
1C15	リーガル・リサーチ	○	○				
1C15	法学の基礎	○	○				
1C15	政治学の基礎	○	○				
1E25	憲法Ⅰ	○	○				
1E25	憲法Ⅱ	○		○			
2E25	憲法Ⅲ		○	○			
2E25	憲法Ⅳ			○	○		
2E25	行政法総論Ⅰ	○		○			
2E25	行政法総論Ⅱ	○			○		
3E25	租税法Ⅰ				○	○	
3E25	租税法Ⅱ				○	○	
3E25	行政法各論Ⅰ			○		○	
3E25	行政法各論Ⅱ			○		○	
3E35	行政救済法				○		○
3E25	経済法				○		○
3E25	環境法				○		○
3E25	社会保障法				○		○
1E25	民法入門		○	○			
1E25	民法総則Ⅰ		○	○			
2E25	民法総則Ⅱ		○		○		
2E25	物権法Ⅰ		○	○			
3E35	物権法Ⅱ				○		○
3E25	債権法総論Ⅰ				○	○	
3E25	債権法総論Ⅱ				○	○	
2E25	債権法各論Ⅰ		○		○		
3E25	債権法各論Ⅱ			○		○	
2E15	家族法Ⅰ		○	○			
2E25	家族法Ⅱ		○		○		
2E25	会社法Ⅰ			○		○	
3E25	会社法Ⅱ				○		○
3E25	会社法Ⅲ				○		○
3E25	商法Ⅰ (総論)		○	○			
3E25	商法Ⅱ (企業取引法)				○		○
3E25	商法Ⅲ (保険法)					○	○
3E25	金融法				○		○
2E15	民事手続法入門			○	○		
3E25	民事訴訟法Ⅰ			○	○		
3E25	民事訴訟法Ⅱ				○	○	
3E35	民事執行法・保全法					○	○
3E35	倒産法					○	○
3E25	労働法Ⅰ					○	○
3E25	労働法Ⅱ				○	○	
3E25	知的財産法Ⅰ				○		○
3E25	知的財産法Ⅱ				○		○
2E25	刑法総論Ⅰ		○	○			
2E25	刑法総論Ⅱ		○	○			
3E25	刑法各論Ⅰ			○	○		
3E25	刑法各論Ⅱ			○	○		
3E25	刑事訴訟法Ⅰ				○	○	
3E25	刑事訴訟法Ⅱ				○	○	
3E25	刑事政策				○		○
3E25	法哲学Ⅰ				○		○
3E25	法哲学Ⅱ				○		○
3E25	法思想史				○		○
3E25	西洋法制史Ⅰ			○	○		
3E25	西洋法制史Ⅱ			○	○		
3E25	日本法と外国法		○		○		
2E25	国際法Ⅰ		○				○
2E25	国際法Ⅱ		○				○
3E25	国際法Ⅲ				○		○

ナンバリング	専門科目	専門科目が目指す学修成果					
		1	2	3	4	5	6
		法の支配及び立法の意義・その役割の理解。	主要な価値観を把握し、身近な問題に法を適用する能力の理解。	分野の原理原則を把握し、問題を解決するための法的基礎知識の理解。	実務的な内容の理解を深め、法的な問題を解決するための法的基礎知識の理解。	法的な問題を解決するための法的基礎知識の理解。	社会的な問題を解決するための法的基礎知識の理解。
3E25	国際法Ⅳ				○		◎
3E35	国際法Ⅴ				○		◎
3E25	国際私法			○	◎		
3E25	政治学Ⅰ			○			◎
3E25	政治学Ⅱ			○			◎
3E25	国際政治論			○			◎
3E25	地方自治論Ⅰ			○			◎
3E25	地方自治論Ⅱ			○			◎
3E25	行政学Ⅰ			○			◎
3E25	行政学Ⅱ			○			◎
1E15	基礎演習Ⅰ				◎	○	
2E15	基礎演習Ⅱ				◎	○	
3R24	演習一部					◎	
4R34	演習二部（卒業研究・論文）					◎	
3E24	外国書講読				◎		
1E25	法曹養成実習Ⅰ				○	◎	
2E25	法曹養成実習Ⅱ				○	◎	
3E35	法曹養成実習Ⅲ				○	◎	
2E24	経済原論Ⅰ				○		◎
2E24	経済原論Ⅱ				○		◎
2E24	国際経済論Ⅰ				○		◎
2E24	国際経済論Ⅱ				○		◎
3E24	財政学Ⅰ				○		◎
3E24	財政学Ⅱ				○		◎
3E24	社会保障論Ⅰ				○		◎
3E24	社会保障論Ⅱ				○		◎
3E25	法学専門技能				○		◎
3E25	専門特殊講義			○			◎

# 法学部法律学科課程表

2021年度以降入学生適用（その1）

※開講学年前期後期欄 { ● ー原則としてその学期で開講。  
 ○ ー原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。  
 空欄 ー開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												備考	
			1年			2年			3年			4年				
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位		
教養教育科目	T G ベーシック	聖書を学ぶ	半期			2										○
		キリスト教の歴史と思想	半期			2										○
		キリスト教学A(キリスト教と倫理)	半期								2					◎ 4科目のうち1科目2単位必修。計4単位まで卒業単位の算入することができる。
		キリスト教学B(キリスト教と宗教)	半期							2						
		キリスト教学C(キリスト教と文化)	半期							2						
		キリスト教学D(キリスト教と現代社会)	半期							2						
		市民社会を生きる	半期			2										
		地球社会を生きる	半期						2							
		科学技術社会を生きる	半期						2							
		キャリア形成と大学生活	半期			2										
	シ ック	クリティカル・シンキング	半期								2					
		数理的思考の基礎	半期			2										
		統計的思考の基礎	半期			2										
		科学的思考の基礎	半期						2							
		情報化社会の基礎	半期			2										
		メディア・リテラシー	半期						2							
		読解・作文の技法	半期			2										
		研究・発表の技法	半期						2							
	学 科 教 養 科 目	哲学の基礎	半期	○	○	2										T G ベーシックの「人間的基礎」の10単位、「知的基礎」の8単位を超える部分を算入することができる。
		芸術論	半期	○	○	2										
		歴史学基礎	半期	○	○	2										
		心理学	半期	○	○	2										
		社会学	半期	○	○	2										
		経営学	半期								2					
		日本国憲法	半期	●		2										
		環境の科学	半期	○	○	2										
		自然の科学	半期	○	○	2										
		健康の科学	半期				○	○	2							
		文学	半期	○	○	2										
		現代の政治	半期		●	2										
文化人類学		半期	○	○	2											
東北地域論		半期				○	○	2								
情報リテラシー		半期	○	○	2											
地理学	半期	○	○	2												
現代の倫理	半期							○	○	2						
社会情勢論	半期									2						
東北学院の歴史	半期								●	2						
地域教育科目	震災と復興	半期	○	○	2											
	地域の課題Ⅰ	半期				●				2				○		
	地域の課題Ⅱ	半期					●			2						
	地域課題演習	通年										4				
外国語科目	第1類	英語ⅠA	半期	●		1									○	
		英語ⅠB	半期		●	1									○	
		英語ⅡA	半期				●				1				○	
		英語ⅡB	半期					●			1				○	
	第2類	ドイツ語ⅠA	半期	●		2										週2回開講
		フランス語ⅠA	半期	●		2										
		中国語ⅠA	半期	●		2										
		韓国・朝鮮語ⅠA	半期	●		2										
		ドイツ語ⅠB	半期		●	2										
		フランス語ⅠB	半期		●	2										
		中国語ⅠB	半期		●	2										
		韓国・朝鮮語ⅠB	半期		●	2										
	ドイツ語Ⅱ	半期									2					
	フランス語Ⅱ	半期									2					
	中国語Ⅱ	半期									2					
韓国・朝鮮語Ⅱ	半期									2						
第3類	ベーシック英語	半期	●		1										「ベーシック英語」履修を指示された者は、「ベーシック英語」履修の後に1年後期に開講される「英語ⅠA」を履修すること。ただし「ベーシック英語」と「英語Ⅲ」と「外国語コミュニケーション」は進級・卒業単位の含まれない。	
	英語Ⅲ	半期								1						
	外国語コミュニケーションⅠ	半期				●						1		◇		
外国語コミュニケーションⅡ	半期					●					1		◇			



法学部法律学科課程表  
2021年度以降入学生適用（その3）

※開講学年前期後期欄 { ● - 原則としてその学期で開講。  
○ - 原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。  
空欄 - 開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												備考			
			1年			2年			3年			4年						
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位				
専門 教育 科目	第3類	刑法総論Ⅰ				●		2										
		刑法総論Ⅱ					●	2										
		刑法各論Ⅰ							●		2							
		刑法各論Ⅱ								●	2							
		刑事訴訟法Ⅰ								●		2						
		刑事訴訟法Ⅱ									●	2						
		刑事政策Ⅰ											●		2			
	刑事政策Ⅱ												●		2			
	第4類	法哲学Ⅰ											●		2			
		法哲学Ⅱ												●	2			
		法制史Ⅰ								●		2						
		法制史Ⅱ									●	2						
		日本法と外国法										2						
	法文化論												●		2			
	第5類	国際法Ⅰ					●		2									
		国際法Ⅱ						●	2									
		国際法Ⅲ								●		2						
		国際法Ⅳ									●	2						
		国際経済法												●		2		
		国際私法										2						
	第6類	政治学Ⅰ								●		2						
		政治学Ⅱ									●	2						
		政治思想史Ⅰ											●		2			
		政治思想史Ⅱ												●	2			
		国際政治論Ⅰ								●		2						
		国際政治論Ⅱ									●	2						
		比較政治論Ⅰ											●		2			
		比較政治論Ⅱ												●	2			
		地方自治論Ⅰ								●		2						
		地方自治論Ⅱ									●	2						
	第7類	行政学Ⅰ								●		2						
		行政学Ⅱ									●	2						
		平和学												●	2			
		基礎演習Ⅰ			●	2												
		基礎演習Ⅱ					○	○	2									
		演習一部								●	●	4						
		演習二部											●	●	4			
		卒業試験													2			
		コース総合演習A								●		2						
	コース総合演習B									●	2							
	外国書講読									●	●	4						
	法曹養成実習Ⅰ		●	●	2													
法曹養成実習Ⅱ					●	●	2											
法曹養成実習Ⅲ								●	●	2								
第8類	経済原論Ⅰ					●		2										
	経済原論Ⅱ						●	2										
	国際経済論Ⅰ					●		2										
	国際経済論Ⅱ						●	2										
	財政学Ⅰ								●		2							
	財政学Ⅱ									●	2							
	社会保障論Ⅰ											●		2				
	社会保障論Ⅱ												●	2				
	海外研究Ⅰ							2										
	海外研究Ⅱ							2										
法学専門技能										2								
コミュニケーション技能				2														
第9類	専門特殊講義										2							

第8類から12単位まで卒業所要単位に算入することを認める



法学部法律学科課程表  
2021年度以降入学生適用（その4）

※開講学年前期後期欄 { ● - 原則としてその学期で開講。  
○ - 原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。  
空欄 - 開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												備考	
			1年			2年			3年			4年				
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位		
教育職員免許状の教科に関する科目	日本史要説	半期						2								◎印 - 必修科目 ○印 - 選択必修科目
	外国史要説	半期						2								
	地誌学概説	半期										2				
	地理学概説	半期						2								
	日本近現代史	半期						2								
	民俗学概論Ⅰ	半期				●		2								
	民俗学概論Ⅱ	半期					●	2								
	江戸から明治へ	半期				●		2								
	西洋中世史	半期							●			2				
	西洋近代史	半期								●		2				
	経営史Ⅰ	半期							●			2				
	経営史Ⅱ	半期								●		2				
	経済史Ⅰ	半期							●			2				
経済史Ⅱ	半期								●		2					
教職等に関する科目	現代教職論	半期			2										◇	◇印は、教育職員免許状取得に必修。 ☆印は、中学校教諭免許状取得に必修。 ※印は、取得しようとする免許の種類と教科によって履修方法が異なるため、詳細は大学要覧「教職課程」を参照。
	教育基礎論	半期	●		2										◇	
	教育の制度と経営	半期		●	2										◇	
	教育心理学	半期						2							◇	
	教育課程論	半期				●		2							◇	
	道德教育の理論と方法	半期						2							☆	
	教育の方法と技術	半期						2							◇	
	教育相談の理論と方法	半期						2							◇	
	生徒指導・進路指導の理論と方法	半期						2							◇	
	社会・地理歴史科教育法(概論・理論)	半期					●	2							※	
	社会・公民科教育法(概論・理論)	半期					●	2								
	社会・地理歴史科教育法(実践)	半期								●		2				
	社会・公民科教育法(実践)	半期								●		2				
	社会・地理歴史科教育法(応用)	半期							●			2				
	社会・公民科教育法(応用)	半期							●			2				
	社会科教育法(発展)	半期										2			◇	
	特別支援教育論	半期										2				
	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法	半期										2				
介護体験実習	通年							●	●		2			☆		
教育実習Ⅰ	通年												3	◇		
教育実習Ⅱ	通年												2	☆		
教職実践演習(中・高)	半期											●	2	◇		

## 法律学科卒業要件

## コース別卒業要件

### 卒業に必要な最低修得単位数

分類		単位数
教養教育科目	TGベーシック	10 必修6単位含む
	人間的基礎	8
	知的基礎	8
TGベーシック～学科教養科目 他学部・他大学開講教養教育科目		16
地域教育科目		2 必修
外国語科目 第1類		4 必修
教養教育科目 学科教養科目、地域教育科目 外国語科目 第2類、保健体育科目、 他学部・他大学開講非専門教育科目		8
専門教育科目 導入科目		4 選択必修
専門教育科目 導入科目、第1類～第9類 他学部・他大学開講専門教育科目		72 「演習二部」・「卒業試験」から選択必修
合計		124

	政策・行政	企業法務	法律専門職
導入科目	4 <sup>注2</sup>	4 <sup>注2</sup>	4 <sup>注2</sup>
第1類	8	4	8
第2類	10	18	16
第3類	4	2	8
第4類			
第5類		6	
第6類	8		
第7類	2 <sup>注3</sup>	2 <sup>注3</sup>	2 <sup>注3</sup>
小計	36	36	38
残り単位数 <sup>注1</sup>	40	40	38

注1 専門教育科目 第8類からは12単位まで算入を認める。また、他学部・他大学開講専門教育科目については20単位まで算入を認める。

注2 導入科目から6単位を取得した場合には、2単位を残り単位数に算入する。

注3 「演習二部」「卒業試験」から選択必修。早期卒業には適用しない。

## コースの選択について

- 2年次の科目登録時に1コースを必ず選択
- コース選択の変更は3年次の科目登録時に可能とする。

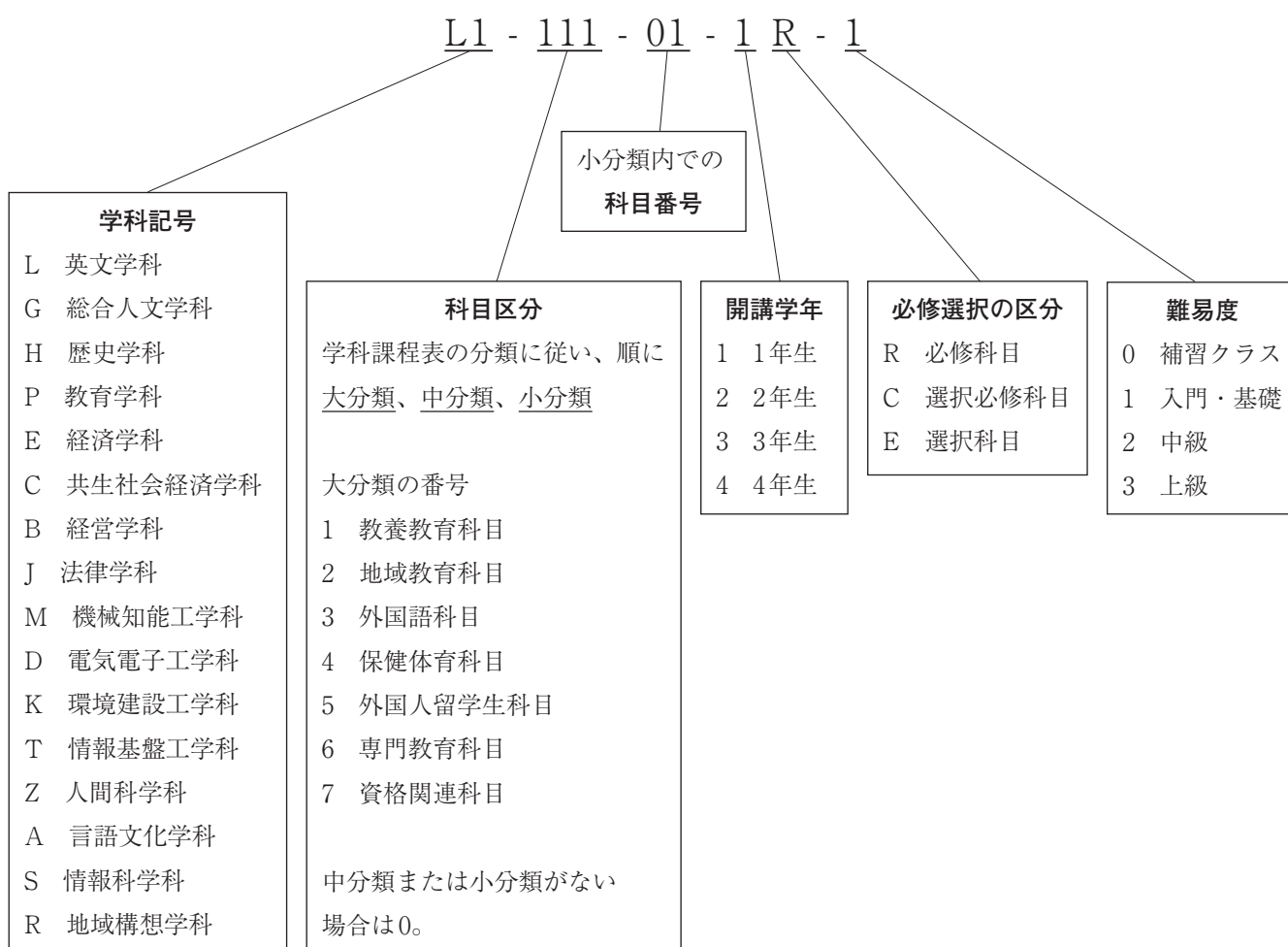
## 〈カリキュラムマップの見方〉

カリキュラムマップは、学科課程表にある各科目が学位授与の方針（ディプロマポリシー）のどれを達成するために置かれているかを示している表です。表の左から「科目ナンバリング」、「科目名」、「学位授与の方針の各項目」の順に並んでおり、学位授与の方針の項目についている◎は「その科目がその方針の達成を最も重視していること」を表し、○は「その科目がその方針の達成を重視していること」を表しています。

科目を履修する際には、カリキュラムマップを参考にして、その科目が大学における学修全体の中でどのような意味・目標をもっているかを理解しておくことが大切です。

## 〈科目ナンバリングの見方〉

科目ナンバリングとは、その科目の性格を端的に示す記号で、以下のような情報から成っています。



\* 学科記号に続く一桁の数字はカリキュラムの世代を示すもので、学生の皆さんが考慮する必要はありません。

法学部 法律学科 カリキュラムマップ (その1)

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)							課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる				
		現代をよく生きることに ついて、キリスト教の 教えを踏まえた考察 ができる	高度な知的 活動に必要な 汎用的諸 技能・能力 及び英語力 を活用できる	ものごとを 広く多様な 視点から認 識し、異な る認識・思 考方法や価 値観に理解 を示すこと ができる	専攻分野の専門的知識とそれを支える認識や思考の方法を説明できる	法の支配及び法治主義を 理解し、立法・行政と それぞれに携わる重要な 機関の役割を説明できる。	主要な法分野における 基本的な価値や法原理 を理解し、それらを身 近な問題解決に応用す ることができる。	日本の主要な実定法を 体系的に理解し、それ らの基礎的な内容を説 明できる。		一般的な法的問題につ いて、法的判断に必要な 情報を集め、それらを 整理して要点を説明す ることができる。	法を解釈し適用する際 の法的論理を理解し、 具体的事実を適用して 法的判断を導き出すこ とができる。	新しい社会問題につ いて、法的対応の現状 を説明し、あるいは別 の新たな法的対応を提 案することができる。	
J1-111-01-1R-1	聖書を学ぶ	◎		○									
J1-111-02-1R-1	キリスト教の歴史と思想	◎		○									
J1-111-03-3C-2	キリスト教学A (キリスト教と倫理)	◎		○									
J1-111-04-3C-2	キリスト教学B (キリスト教と宗教)	◎		○									
J1-111-05-3C-2	キリスト教学C (キリスト教と文化)	◎		○									
J1-111-06-3C-2	キリスト教学D (キリスト教と現代社会)	◎		○									
J1-111-07-1E-1	市民社会を生きる			◎									
J1-111-08-2E-1	地球社会を生きる			◎									
J1-111-09-2E-1	科学技術社会を生きる			◎									
J1-111-10-1E-1	キャリア形成と大学生活			◎									
J1-112-01-3E-1	クリティカル・シンキング		◎	○									
J1-112-02-1E-1	数理的思考の基礎		◎										
J1-112-03-1E-1	統計的思考の基礎		◎										
J1-112-04-2E-1	科学的思考の基礎		◎	○									
J1-112-05-1E-1	情報化社会の基礎		◎	○									
J1-112-06-2E-1	メディア・リテラシー		◎	◎									
J1-112-07-1E-1	読解・作文の技法		◎										
J1-112-08-2E-1	研究・発表の技法		◎										
J1-120-01-1E-1	哲学の基礎			◎									
J1-120-02-1E-1	芸術論			◎									
J1-120-03-1E-1	歴史学基礎			◎									
J1-120-04-1E-1	心理学			◎									
J1-120-05-1E-1	社会学			◎									
J1-120-06-3E-1	経営学			◎									
J1-120-07-1E-1	日本国憲法			◎									
J1-120-08-1E-1	環境の科学			◎									
J1-120-09-1E-1	自然の科学			◎									
J1-120-10-2E-1	健康の科学			◎									
J1-120-11-1E-1	文学			◎									
J1-120-12-1E-1	現代の政治			◎									
J1-120-13-1E-1	文化人類学			◎									
J1-120-14-2E-1	東北地域論			◎									
J1-120-15-1E-1	情報リテラシー			◎									
J1-120-16-1E-1	地理学			◎									
J1-120-17-3E-1	現代の倫理			◎									
J1-120-18-3E-1	社会情勢論			◎									
J1-120-19-3E-1	東北学院の歴史	○		◎									
J1-200-01-1E-1	震災と復興			◎									◎
J1-200-02-2R-1	地域の課題 I			◎									◎
J1-200-03-2E-1	地域の課題 II			◎									◎
J1-200-04-3E-2	地域課題演習			◎									◎
J1-310-01-1R-1	英語 I A		◎	○									
J1-310-02-1R-1	英語 I B		◎	○									
J1-310-03-2R-2	英語 II A		◎	○									
J1-310-04-2R-2	英語 II B		◎	○									
J1-320-01-1E-1	ドイツ語 I A		◎	○									
J1-320-02-1E-1	フランス語 I A		◎	○									
J1-320-03-1E-1	中国語 I A		◎	○									
J1-320-04-1E-1	韓国・朝鮮語 I A		◎	○									
J1-320-05-1E-1	ドイツ語 I B		◎	○									
J1-320-06-1E-1	フランス語 I B		◎	○									
J1-320-07-1E-1	中国語 I B		◎	○									
J1-320-08-1E-1	韓国・朝鮮語 I B		◎	○									
J1-320-09-2E-2	ドイツ語 II		◎	○									
J1-320-10-2E-2	フランス語 II		◎	○									
J1-320-11-2E-2	中国語 II		◎	○									
J1-320-12-2E-2	韓国・朝鮮語 II		◎	○									
J1-330-01-1E-0	ベーシック英語		◎	○									
J1-330-02-2R-2	外国語コミュニケーション I		◎	○									
J1-330-03-2R-2	外国語コミュニケーション II		◎	○									
J1-330-04-3E-3	英語 III		◎	○									
J1-400-01-2E-1	体育講義			◎									
J1-400-02-2E-1	スポーツ実技			◎									
J1-510-01-1E-1	日本事情 A		◎	○									
J1-510-02-1E-1	日本事情 B		◎	○									
J1-510-03-1E-1	日本事情 C		◎	○									
J1-520-01-1E-1	日本語 I A		◎	○									
J1-520-02-1E-1	日本語 I B		◎	○									
J1-520-03-2E-2	日本語 II A		◎	○									
J1-520-04-2E-2	日本語 II B		◎	○									
J1-610-01-1C-1	法学部生入門				◎	○							
J1-610-02-1C-1	法学の基礎				◎	○							
J1-610-03-1C-1	政策・行政入門				◎	○							

法学部 法律学科 カリキュラムマップ (その2)

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)								課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる
		現代をよく生きることに ついて、キリスト教 の教えを踏 まえた考察 ができる	高度な知的 活動に必要な 汎用的諸 技能・能力 及び英語力 を活用でき る	ものごとを 広く多様な 視点から認 識し、異な る認識・思 考方法や価 値観に理解 を示すこと ができる	専攻分野の専門的知識とそれを支える認識や思考の方法を説明できる	法の支配及び法治主義を 理解し、立法・司法・行政と それぞれに携わる重要な 機関の役割を説明できる。	主要な法分野における 基本的な価値や法原理を 理解し、それらを身近な 問題解決に応用することが できる。	日本の主要な実定法を体系的に理解し、それらの基礎的な内容を説明できる。	一般的な法的問題について、法的判断に必要な情報を集め、それらを整理して要点を説明することができる。	
J1-620-01-1E-2	憲法 I				○	◎				
J1-620-02-1E-2	憲法 II				○		◎			
J1-620-03-2E-2	憲法 III					○	◎			
J1-620-04-2E-2	憲法 IV						◎	○		
J1-620-05-3E-2	行政法総論 I				○		◎			
J1-620-06-3E-2	行政法総論 II				○			◎		
J1-620-07-3E-2	租税法 I							◎	○	
J1-620-08-3E-2	租税法 II							◎	○	
J1-620-09-4E-2	行政法各論 I						◎		○	
J1-620-10-4E-2	行政法各論 II						◎		○	
J1-620-11-4E-3	行政救済法							◎		○
J1-620-12-4E-2	経済法 I							○	◎	
J1-620-13-4E-2	経済法 II							○		◎
J1-620-14-4E-2	環境法							○		◎
J1-620-15-4E-2	社会保障法							○		◎
J1-630-01-1E-2	民法総則 I					◎	○			
J1-630-02-2E-2	民法総則 II					◎		○		
J1-630-03-2E-2	物権法 I					◎	○			
J1-630-04-3E-3	物権法 II							◎		○
J1-630-05-3E-2	債権法総論 I							○	◎	
J1-630-06-3E-2	債権法総論 II							○	◎	
J1-630-07-2E-2	債権法各論 I					◎		○		
J1-630-08-3E-2	債権法各論 II							◎		○
J1-630-09-1E-1	家族法 I					◎	○			
J1-630-10-3E-2	家族法 II					◎		○		
J1-630-11-2E-2	会社法 I						◎		○	
J1-630-12-3E-2	会社法 II							◎		○
J1-630-13-3E-2	会社法 III							◎		○
J1-630-14-3E-2	商法 I (総論)					◎	○			
J1-630-15-3E-2	商法 II (証券・決済)							○		◎
J1-630-16-4E-2	商法 III (商取引・保険)								○	◎
J1-630-17-3E-2	金融法							○		◎
J1-630-18-2E-1	民事手続法入門						◎	○		
J1-630-19-3E-2	民事訴訟法 I						○	◎		
J1-630-20-3E-2	民事訴訟法 II							◎	○	
J1-630-21-3E-3	民事執行法・保全法								◎	○
J1-630-22-3E-3	倒産法								◎	○
J1-630-23-3E-2	労働法 I								◎	○
J1-630-24-3E-2	労働法 II							○	◎	
J1-630-25-3E-2	知的財産法 I							○		◎
J1-630-26-3E-2	知的財産法 II							○		◎
J1-640-01-2E-2	刑法総論 I					◎	○			
J1-640-02-2E-2	刑法総論 II					◎		○		
J1-640-03-3E-2	刑法各論 I						○	◎		
J1-640-04-3E-2	刑法各論 II						○	◎		
J1-640-05-3E-2	刑事訴訟法 I							○	◎	
J1-640-06-3E-2	刑事訴訟法 II							○	◎	
J1-640-07-4E-2	刑事政策 I							○		◎
J1-640-08-4E-2	刑事政策 II							○		◎
J1-650-01-4E-2	法哲学 I							○		◎
J1-650-02-4E-2	法哲学 II							○		◎
J1-650-03-3E-2	法制史 I						○	◎		
J1-650-04-3E-2	法制史 II						○	◎		
J1-650-05-3E-2	日本法と外国法					◎		○		
J1-650-06-4E-2	法文化論							◎		○
J1-660-01-2E-2	国際法 I					◎			○	
J1-660-02-2E-2	国際法 II					◎			○	
J1-660-03-3E-2	国際法 III							○	◎	
J1-660-04-3E-2	国際法 IV							○	◎	
J1-660-05-4E-3	国際経済法							○	◎	
J1-660-06-3E-2	国際私法						○	◎		
J1-670-01-3E-2	政治学 I						○			◎
J1-670-02-3E-2	政治学 II						○			◎
J1-670-03-4E-2	政治思想史 I				◎	○				
J1-670-04-4E-2	政治思想史 II				◎	○				
J1-670-05-3E-2	国際政治論 I					○				◎
J1-670-06-3E-2	国際政治論 II					○				◎
J1-670-07-4E-2	比較政治論 I					○				◎
J1-670-08-4E-2	比較政治論 II					○				◎
J1-670-09-3E-2	地方自治論 I				◎	○				
J1-670-10-3E-2	地方自治論 II				◎	○				
J1-670-11-3E-2	行政学 I					○				◎
J1-670-12-3E-2	行政学 II					○				◎
J1-670-13-4E-2	平和学					○				◎

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)								課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる
		現代をよく生きることに ついて、キリスト教 の教えを踏 まえた考察 ができる	高度な知的 活動に必要な 汎用的諸 技能・能力 及び英語力 を活用でき る	ものごとを 広く多様な 視点から認 識し、異な る認識・思 考方法や価 値観に理解 を示すこと ができる	専攻分野の専門的知識とそれを支える認識や思考の方法を説明できる	法の支配及 び法治主義 を理解し、 立法・司 法・行政と それぞれに 携わる重要 機関の役割 を説明でき る。	主要な法分 野における 基本的な価 値や法原理 を理解し、 それらを身 近な問題解 決に応用す ることがで きる。	日本の主要 な実定法を 体系的に理 解し、それ らの基礎的 な内容を説 明できる。	一般的な法 的問題につ いて、法的 判断に必要 な情報を集 め、それら を整理して 要点を説明 することが できる。	
J1-680-01-1E-1	基礎演習 I							◎	○	
J1-680-02-2E-1	基礎演習 II							◎	○	
J1-680-03-3E-2	演習一部								○	◎
J1-680-04-4C-3	演習二部								○	◎
J1-680-05-4C-3	卒業試験					○	◎			
J1-680-06-3E-2	コース総合演習 A									◎
J1-680-07-3E-2	コース総合演習 B									◎
J1-680-08-3E-2	外国書講読							○		◎
J1-680-09-1E-2	法曹養成実習 I							○	◎	
J1-680-10-2E-2	法曹養成実習 II							○	◎	
J1-680-11-3E-3	法曹養成実習 III							○	◎	
J1-691-01-2E-2	経済原論 I							○		◎
J1-691-02-2E-2	経済原論 II							○		◎
J1-691-03-2E-2	国際経済論 I							○		◎
J1-691-04-2E-2	国際経済論 II							○		◎
J1-691-05-3E-2	財政学 I							○		◎
J1-691-06-3E-2	財政学 II							○		◎
J1-691-07-4E-2	社会保障論 I							○		◎
J1-691-08-4E-2	社会保障論 II							○		◎
J1-691-09-2E-2	海外研究 I							○		◎
J1-691-10-2E-2	海外研究 II							○		◎
J1-691-11-3E-2	法学専門技能					◎	○			
J1-691-12-1E-2	コミュニケーション技能									◎
J1-692-01-3E-2	専門特殊講義							○		◎
J1-701-01-2E-2	日本史要説			◎						
J1-701-02-2E-2	外国史要説			◎						
J1-701-03-3E-2	地誌学概説			◎						
J1-701-04-2E-2	地理学概説			◎						
J1-701-05-2E-2	日本近現代史			◎						
J1-701-06-2E-2	民俗学概論 I			◎						
J1-701-07-2E-2	民俗学概論 II			◎						
J1-701-08-2E-2	江戸から明治へ			◎						
J1-701-09-3E-2	西洋中世史			◎						
J1-701-10-3E-2	西洋近代史			◎						
J1-701-11-3E-2	経営史 I			◎						
J1-701-12-3E-2	経営史 II			◎						
J1-701-13-3E-2	経済史 I			◎						
J1-701-14-3E-2	経済史 II			◎						
J1-702-01-1R-1	現代教職論			◎						
J1-702-02-1R-1	教育基礎論			◎						
J1-702-03-1R-1	教育の制度と経営			◎						
J1-702-04-2R-2	教育心理学			◎						
J1-702-05-2R-2	教育課程論			◎						
J1-702-06-2R-2	道徳教育の理論と方法			◎						
J1-702-07-2R-2	教育の方法と技術			◎						
J1-702-08-2R-2	教育相談の理論と方法			◎						
J1-702-09-2R-2	生徒指導・進路指導の理論と方法			◎						
J1-702-10-2R-3	社会・地理歴史科教育法(概論・理論)			○		◎				
J1-702-11-2R-3	社会・公民科教育法(概論・理論)			○		◎				
J1-702-12-3R-3	社会・地理歴史科教育法(実践)			○		◎				
J1-702-13-3R-3	社会・公民科教育法(実践)			○		◎				
J1-702-14-3E-3	社会・地理歴史科教育法(応用)			○		◎				
J1-702-15-3R-3	社会・公民科教育法(応用)			○		◎				
J1-702-16-3R-3	社会科教育法(発展)			○		◎				
J1-702-17-3R-3	特別支援教育論			○		◎				
J1-702-18-3R-3	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法			○		◎				
J1-702-19-3R-2	介護体験実習			◎						
J1-702-20-4R-3	教育実習 I					○				◎
J1-702-21-4R-3	教育実習 II					○				◎
J1-702-22-4R-3	教職実践演習(中・高)									◎

# 法学部法律学科課程表

2019～2020年度入学生適用（その1）

※開講学年前期後期欄 { ● - 原則としてその学期で開講。  
 ○ - 原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。  
 空欄 - 開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												備考				
			1年			2年			3年			4年							
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位					
教養教育科目	T G ベーシック	聖書を学ぶ	半期			2											○		
		キリスト教の歴史と思想	半期			2												○	
		キリスト教学A(キリスト教と倫理)	半期								2							○ 4科目のうち1科目2単位必修。計4単位まで卒業単位に算入することができる。	
		キリスト教学B(キリスト教と宗教)	半期							2									
		キリスト教学C(キリスト教と文化)	半期							2									
		キリスト教学D(キリスト教と現代社会)	半期							2									
		市民社会を生きる	半期			2													
		地球社会を生きる	半期						2										
		科学技術社会を生きる	半期						2										
		キャリア形成と大学生活	半期			2													
	知的基礎	クリティカル・シンキング	半期								2								
		数理的思考の基礎	半期			2													
		統計的思考の基礎	半期			2													
		科学的思考の基礎	半期					2											
		情報化社会の基礎	半期			2													
		メディア・リテラシー	半期					2											
		読解・作文の技法	半期			2													
		研究・発表の技法	半期					2											
		学科教養科目	哲学の基礎	半期	○	○	2												
			芸術論	半期	○	○	2												
	歴史学基礎		半期	○	○	2													
	心理学		半期	○	○	2													
	社会学		半期	○	○	2													
	経営学		半期								2								
	日本国憲法		半期	●		2													
	環境の科学		半期	○	○	2													
	自然の科学		半期	○	○	2													
	健康の科学		半期				○	○	2										
	文学		半期	○	○	2													
	現代の政治		半期		●	2													
文化人類学	半期		○	○	2														
東北地域論	半期					○	○	2											
情報リテラシー	半期		○	○	2														
地理学	半期	○	○	2															
現代の倫理	半期							○	○	2									
社会情勢論	半期									2									
地域教育科目	震災と復興	半期	○	○	2														
	地域の課題Ⅰ	半期				●			2								○		
	地域の課題Ⅱ	半期					●		2										
	地域課題演習	通年									4								
外国語科目	第1類	英語ⅠA	半期	●		1											○		
		英語ⅠB	半期		●	1												○	
		英語ⅡA	半期				●			1								○	
		英語ⅡB	半期					●		1								○	
	第2類	ドイツ語ⅠA	半期	●		2												週2回開講	
		フランス語ⅠA	半期	●		2													
		中国語ⅠA	半期	●		2													
		韓国・朝鮮語ⅠA	半期	●		2													
		ドイツ語ⅠB	半期		●	2													
		フランス語ⅠB	半期		●	2													
		中国語ⅠB	半期		●	2													
		韓国・朝鮮語ⅠB	半期		●	2													
	ドイツ語Ⅱ	半期								2									
	フランス語Ⅱ	半期								2									
	中国語Ⅱ	半期								2									
	韓国・朝鮮語Ⅱ	半期								2									
	第3類	ベーシック英語	半期	●		1												「ベーシック英語」履修を指示された者は、「ベーシック英語」履修の後に1年後期に開講される「英語ⅠA」を履修すること。ただし「ベーシック英語」と「英語Ⅲ」と「外国語コミュニケーション」は進級・卒業単位に含まれない。	
英語Ⅲ		半期								1									
外国語コミュニケーションⅠ		半期				●			1							◇			
外国語コミュニケーションⅡ		半期					●		1							◇			



法学部法律学科課程表  
2019～2020年度入学生適用（その2）

※開講学年前期後期欄 { ● 一原則としてその学期で開講。  
○ 一原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。  
空欄 開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												備考			
			1年			2年			3年			4年						
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位				
保健体育科目	体育講義	半期						2										
	スポーツ実技	通年				●	●	2										
外国人留学生科目	第1類	日本事情A	半期		2													
		日本事情B	半期		2													
		日本事情C	半期		2													
	第2類	日本語I A	半期	●	1													
		日本語I B	半期		●	1												
		日本語II A	半期			●	1											
	日本語II B	半期				●	1											
専門教育科目	導入科目	法学部生入門	半期	●	2												◎ 4単位選択必修	
		法学の基礎	半期	●	2													
		政策・行政入門	半期		●	2												
	第1類	憲法I	半期		●	2												
		憲法II	半期		●	2												
		憲法III	半期				●	2										
		憲法IV	半期					●	2									
		行政法総論I	半期						●	2								
		行政法総論II	半期							●	2							
		行政法各論I	半期									●	2					
		行政法各論II	半期										●	2				
		行政救済法	半期									●	2					
		経済法I	半期									●	2					
		経済法II	半期										●	2				
		租税法I	半期							●	2							
		租税法II	半期								●	2						
		環境法	半期										●	2				
		社会保障法	半期											●	2			
	第2類	民法総則I	半期		●	2												
		民法総則II	半期				●	2										
		物権法I	半期					●	2									
		物権法II	半期						●	2								
		債権法総論I	半期							●	2							
		債権法総論II	半期								●	2						
		債権法各論I	半期				●	2										
		債権法各論II	半期						●	2								
		家族法I	半期	●	2													
		家族法II	半期								●	2						
		会社法I	半期					●	2									
		会社法II	半期							●	2							
会社法III		半期								●	2							
商法I（総論）		半期							●	2								
商法II（証券・決済）		半期								●	2							
商法III（商取引・保険）		半期										●	2					
金融法		半期								●	2							
民事手続法入門		半期					●	2										
民事訴訟法I		半期							●	2								
民事訴訟法II		半期								●	2							
民事執行法・保全法		半期								●	2							
倒産法		半期							●	2								
労働法I		半期							●	2								
労働法II	半期								●	2								
知的財産法I	半期							●	2									
知的財産法II	半期								●	2								



法学部法律学科課程表  
2019～2020年度入学生適用（その3）

※開講学年前期後期欄 { ● - 原則としてその学期で開講。  
○ - 原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。  
空欄 - 開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												備考			
			1年			2年			3年			4年						
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位				
専門 教育 科目	第3類	刑法総論Ⅰ				●		2										
		刑法総論Ⅱ					●	2										
		刑法各論Ⅰ							●		2							
		刑法各論Ⅱ								●	2							
		刑事訴訟法Ⅰ								●		2						
		刑事訴訟法Ⅱ									●	2						
		刑事政策Ⅰ											●		2			
	刑事政策Ⅱ												●		2			
	第4類	法哲学Ⅰ											●		2			
		法哲学Ⅱ												●	2			
		法制史Ⅰ								●		2						
		法制史Ⅱ									●	2						
		日本法と外国法										2						
	法文化論												●		2			
	第5類	国際法Ⅰ					●		2									
		国際法Ⅱ						●	2									
		国際法Ⅲ								●		2						
		国際法Ⅳ									●	2						
		国際経済法												●		2		
		国際私法										2						
	第6類	政治学Ⅰ								●		2						
		政治学Ⅱ									●	2						
		政治思想史Ⅰ											●		2			
		政治思想史Ⅱ												●	2			
		国際政治論Ⅰ								●		2						
		国際政治論Ⅱ									●	2						
		比較政治論Ⅰ											●		2			
		比較政治論Ⅱ												●	2			
		地方自治論Ⅰ								●		2						
		地方自治論Ⅱ									●	2						
	第7類	行政学Ⅰ								●		2						
		行政学Ⅱ									●	2						
		平和学												●	2			
		基礎演習Ⅰ			●	2												
		基礎演習Ⅱ					○	○	2									
		演習一部								●	●	4						
演習二部												●	●	4				
卒業試験														2				
コース総合演習A									●		2							
コース総合演習B									●	2								
第8類	外国書講読								●	●	4							
	法曹養成実習Ⅰ		●	●	2													
	法曹養成実習Ⅱ					●	●	2										
	法曹養成実習Ⅲ								●	●	2							
	経済原論Ⅰ					●		2										
	経済原論Ⅱ						●	2										
	国際経済論Ⅰ					●		2										
	国際経済論Ⅱ						●	2										
	財政学Ⅰ								●		2							
	財政学Ⅱ									●	2							
第9類	社会保障論Ⅰ											●		2				
	社会保障論Ⅱ												●	2				
	海外研究Ⅰ							2										
	海外研究Ⅱ							2										
法学専門技能										2								
コミュニケーション技能				2														
第9類	専門特殊講義										2							

第8類から12単位まで卒業所要単位に算入することを認める

区分	科目名	開講期	開講学年												備考	
			1年			2年			3年			4年				
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位		
教育職員免許状の教科に関する科目	日本史要説	半期						2								◎印 - 必修科目 ○印 - 選択必修科目
	外国史要説	半期						2								
	地誌学概説	半期										2				
	地理学概説	半期						2								
	日本近現代史	半期						2								
	民俗学概論Ⅰ	半期				●		2								
	民俗学概論Ⅱ	半期					●	2								
	江戸から明治へ	半期				●		2								
	西洋中世史	半期							●			2				
	西洋近代史	半期								●		2				
	経営史Ⅰ	半期							●			2				
	経営史Ⅱ	半期								●		2				
	経済史Ⅰ	半期							●			2				
経済史Ⅱ	半期								●		2					
教職等に関する科目	現代教職論	半期			2										◇	◇印は、教育職員免許状取得に必修。 ☆印は、中学校教諭免許状取得に必修。 ※印は、取得しようとする免許の種類と教科によって履修方法が異なるため、詳細は大学要覧「教職課程」を参照。
	教育基礎論	半期	●		2										◇	
	教育の制度と経営	半期		●	2										◇	
	教育心理学	半期						2							◇	
	教育課程論	半期				●		2							◇	
	道德教育の理論と方法	半期						2							☆	
	教育の方法と技術	半期						2							◇	
	教育相談の理論と方法	半期						2							◇	
	生徒指導・進路指導の理論と方法	半期						2							◇	
	社会・地理歴史科教育法(概論・理論)	半期					●	2							※	
	社会・公民科教育法(概論・理論)	半期					●	2								
	社会・地理歴史科教育法(実践)	半期								●		2				
	社会・公民科教育法(実践)	半期								●		2				
	社会・地理歴史科教育法(応用)	半期							●			2				
	社会・公民科教育法(応用)	半期							●			2				
	社会科教育法(発展)	半期										2			◇	
	特別支援教育論	半期										2				
	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法	半期										2				
介護体験実習	通年							●	●		2			☆		
教育実習Ⅰ	通年												3	◇		
教育実習Ⅱ	通年												2	☆		
教職実践演習(中・高)	半期											●	2	◇		

## 法律学科卒業要件

### 卒業に必要な最低修得単位数

分類		単位数
教養教育科目	TGベーシック	10 必修6単位含む
	人間的基礎	8
	知的基礎	8
TGベーシック～学科教養科目 他学部・他大学開講教養教育科目		16
地域教育科目		2 必修
外国語科目 第1類		4 必修
教養教育科目 学科教養科目、地域教育科目 外国語科目 第2類、保健体育科目、 他学部・他大学開講非専門教育科目		8
専門教育科目 導入科目		4 選択必修
専門教育科目 導入科目、第1類～第9類 他学部・他大学開講専門教育科目		72 「演習二部」・「卒業試験」から選択必修
合計		124

## コース別卒業要件

	政策・行政	企業法務	法律専門職
導入科目	4 <sup>注2</sup>	4 <sup>注2</sup>	4 <sup>注2</sup>
第1類	8	4	8
第2類	10	18	16
第3類	4	2	8
第4類			
第5類		6	
第6類	8		
第7類	2 <sup>注3</sup>	2 <sup>注3</sup>	2 <sup>注3</sup>
小計	36	36	38
残り単位数 <sup>注1</sup>	40	40	38

注1 専門教育科目 第8類からは12単位まで算入を認める。また、他学部・他大学開講専門教育科目については20単位まで算入を認める。

注2 導入科目から6単位を取得した場合には、2単位を残り単位数に算入する。

注3 「演習二部」「卒業試験」から選択必修。早期卒業には適用しない。

## コースの選択について

- 2年次の科目登録時に1コースを必ず選択
- コース選択の変更は3年次の科目登録時に可能とする。

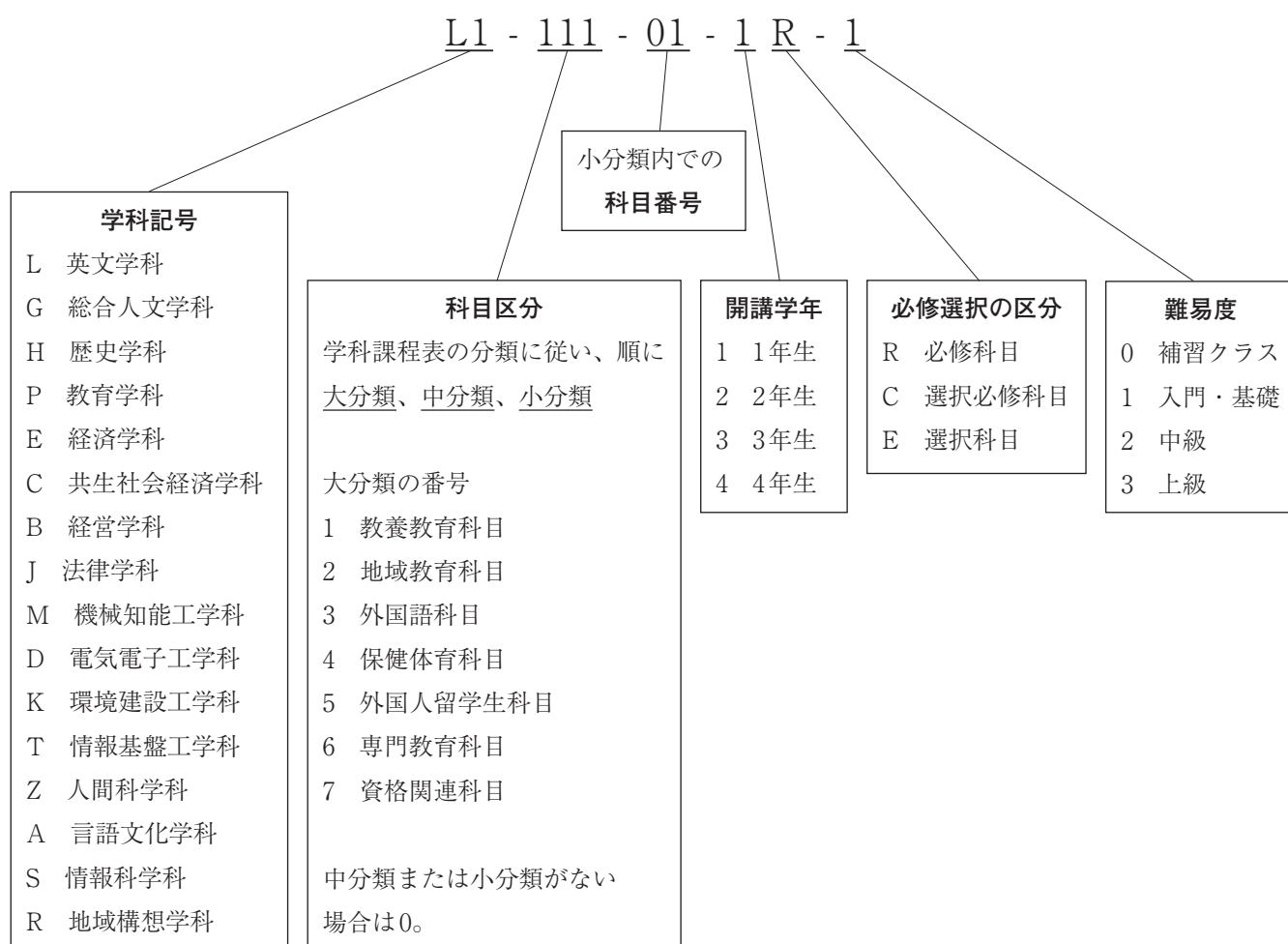
## 〈カリキュラムマップの見方〉

カリキュラムマップは、学科課程表にある各科目が学位授与の方針（ディプロマポリシー）のどれを達成するために置かれているかを示している表です。表の左から「科目ナンバリング」、「科目名」、「学位授与の方針の各項目」の順に並んでおり、学位授与の方針の項目についている◎は「その科目がその方針の達成を最も重視していること」を表し、○は「その科目がその方針の達成を重視していること」を表しています。

科目を履修する際には、カリキュラムマップを参考にして、その科目が大学における学修全体の中でどのような意味・目標をもっているかを理解しておくことが大切です。

## 〈科目ナンバリングの見方〉

科目ナンバリングとは、その科目の性格を端的に示す記号で、以下のような情報から成っています。



\* 学科記号に続く一桁の数字はカリキュラムの世代を示すもので、学生の皆さんが考慮する必要はありません。

法学部 法律学科 カリキュラムマップ (その1)

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)							課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる				
		現代をよく生きることに ついて、キリスト の教えを踏 まえた考察 ができる	高度な知的 活動に必要 な汎用的諸 技能・能力 及び英語力 を活用でき る	ものごとを 広く多様な 視点から認 識し、異な る認識・思 考方法や価 値観に理解 を示すこと ができる	専攻分野の専門的知識とそれを支える認識や思考の方法を説明できる	法の支配及 び法治主義 を理解し、 立法・司法 ・行政と それぞれに 携わる重要 機関の役割 を説明でき る。	主要な法分 野における 基本的な価 値や法原理 、それらを 身近な問題 解決に適用 することが できる。	日本の主要 な実定法を 体系的に理 解し、それ らの基礎的 な内容を説 明できる。		一般的な法 的問題につ いて、法的 判断に必要 な情報を集 め、それら を整理して 要点を説明 することが できる。	法を解釈し 適用する際 の法的論理 を理解し、 具体的事実 に法を適用 して法的判 断を導き出 すことが できる。	新しい社会 問題につい て、法的対 応の現状を あは別の 対応を提案 することが できる。	
J1-111-01-1R-1	聖書を学ぶ	◎		○									
J1-111-02-1R-1	キリスト教の歴史と思想	◎		○									
J1-111-03-3C-2	キリスト教学A (キリスト教と倫理)	◎		○									
J1-111-04-3C-2	キリスト教学B (キリスト教と宗教)	◎		○									
J1-111-05-3C-2	キリスト教学C (キリスト教と文化)	◎		○									
J1-111-06-3C-2	キリスト教学D (キリスト教と現代社会)	◎		○									
J1-111-07-1E-1	市民社会を生きる			◎									
J1-111-08-2E-1	地球社会を生きる			◎									
J1-111-09-2E-1	科学技術社会を生きる			◎									
J1-111-10-1E-1	キャリア形成と大学生活			◎									
J1-112-01-3E-1	クリティカル・シンキング		◎	○									
J1-112-02-1E-1	数理的思考の基礎		◎										
J1-112-03-1E-1	統計的思考の基礎		◎										
J1-112-04-2E-1	科学的思考の基礎		◎	○									
J1-112-05-1E-1	情報化社会の基礎		◎	○									
J1-112-06-2E-1	メディア・リテラシー		◎	◎									
J1-112-07-1E-1	読解・作文の技法		◎										
J1-112-08-2E-1	研究・発表の技法		◎										
J1-120-01-1E-1	哲学の基礎			◎									
J1-120-02-1E-1	芸術論			◎									
J1-120-03-1E-1	歴史学基礎			◎									
J1-120-04-1E-1	心理学			◎									
J1-120-05-1E-1	社会学			◎									
J1-120-06-3E-1	経営学			◎									
J1-120-07-1E-1	日本国憲法			◎									
J1-120-08-1E-1	環境の科学			◎									
J1-120-09-1E-1	自然の科学			◎									
J1-120-10-2E-1	健康の科学			◎									
J1-120-11-1E-1	文学			◎									
J1-120-12-1E-1	現代の政治			◎									
J1-120-13-1E-1	文化人類学			◎									
J1-120-14-2E-1	東北地域論			◎									
J1-120-15-1E-1	情報リテラシー			◎									
J1-120-16-1E-1	地理学			◎									
J1-120-17-3E-1	現代の倫理			◎									
J1-120-18-3E-1	社会情勢論			◎									
J1-200-01-1E-1	震災と復興			○									◎
J1-200-02-2R-1	地域の課題 I												◎
J1-200-03-2E-1	地域の課題 II												◎
T1-200-04-3E-2	地域課題演習												◎
J1-310-01-1R-1	英語 I A		◎	○									
J1-310-02-1R-1	英語 I B		◎	○									
J1-310-03-2R-2	英語 II A		◎	○									
J1-310-04-2R-2	英語 II B		◎	○									
J1-320-01-1E-1	ドイツ語 I A		◎	○									
J1-320-02-1E-1	フランス語 I A		◎	○									
J1-320-03-1E-1	中国語 I A		◎	○									
J1-320-04-1E-1	韓国・朝鮮語 I A		◎	○									
J1-320-05-1E-1	ドイツ語 I B		◎	○									
J1-320-06-1E-1	フランス語 I B		◎	○									
J1-320-07-1E-1	中国語 I B		◎	○									
J1-320-08-1E-1	韓国・朝鮮語 I B		◎	○									
J1-320-09-2E-2	ドイツ語 II		◎	○									
J1-320-10-2E-2	フランス語 II		◎	○									
J1-320-11-2E-2	中国語 II		◎	○									
J1-320-12-2E-2	韓国・朝鮮語 II		◎	○									
J1-330-01-1E-0	ベーシック英語		◎										
J1-330-02-2R-2	外国語コミュニケーション I		◎										
J1-330-03-2R-2	外国語コミュニケーション II		◎										
J1-330-04-3E-3	英語 III		◎	○									
J1-400-01-2E-1	体育講義			◎									
J1-400-02-2E-1	スポーツ実技			◎									
J1-510-01-1E-1	日本事情 A		◎	○									
J1-510-02-1E-1	日本事情 B		◎	○									
J1-510-03-1E-1	日本事情 C		◎	○									
J1-520-01-1E-1	日本語 I A		◎	○									
J1-520-02-1E-1	日本語 I B		◎	○									
J1-520-03-2E-2	日本語 II A		◎	○									
J1-520-04-2E-2	日本語 II B		◎	○									
J1-610-01-1C-1	法学部生入門				◎	○							
J1-610-02-1C-1	法学の基礎				◎	○							
J1-610-03-1C-1	政策・行政入門				◎	○							

法学部 法律学科 カリキュラムマップ (その2)

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)								課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる	
		現代をよく生きることに ついて、キリスト教 の教えを踏 まえた考察 ができる	高度な知的 活動に必要な 汎用的諸 技能・能力 及び英語力 を活用でき る	ものごとを 広く多様な 視点から認 識し、異な る認識・思 考方法や価 値観に理解 を示すこと ができる	専攻分野の専門的知識とそれを支える認識や思考の方法を説明できる	法の支配及び法治主義を 理解し、立法・司法・行政と それぞれに携わる重要機 関の役割を説明できる。	主要な法分野における基本的な価値や法原理を理解し、それらを身近な問題解決に応用することができる。	日本の主要な実定法を体系的に理解し、それらの基礎的な内容を説明できる。	一般的な法的問題について、法的判断に必要な情報を集め、それらを整理して要点を説明することができる。		法を解釈し適用する際の法的論理を理解し、具体的事実を法に適用して法的判断を導き出すことができる。
J1-620-01-1E-2	憲法 I				○	◎					
J1-620-02-1E-2	憲法 II				○		◎				
J1-620-03-2E-2	憲法 III					○	◎				
J1-620-04-2E-2	憲法 IV						◎	○			
J1-620-05-3E-2	行政法総論 I				○		◎				
J1-620-06-3E-2	行政法総論 II				○			◎			
J1-620-07-3E-2	租税法 I							◎	○		
J1-620-08-3E-2	租税法 II							◎	○		
J1-620-09-4E-2	行政法各論 I						◎		○		
J1-620-10-4E-2	行政法各論 II						◎		○		
J1-620-11-4E-3	行政救済法							◎		○	
J1-620-12-4E-2	経済法 I							○	◎		
J1-620-13-4E-2	経済法 II							○		◎	
J1-620-14-4E-2	環境法							○		◎	
J1-620-15-4E-2	社会保障法							○		◎	
J1-630-01-1E-2	民法総則 I					◎	○				
J1-630-02-2E-2	民法総則 II					◎		○			
J1-630-03-2E-2	物権法 I					◎	○				
J1-630-04-3E-3	物権法 II							◎		○	
J1-630-05-3E-2	債権法総論 I							○	◎		
J1-630-06-3E-2	債権法総論 II							○	◎		
J1-630-07-2E-2	債権法各論 I					◎		○			
J1-630-08-3E-2	債権法各論 II							◎	○		
J1-630-09-1E-1	家族法 I					◎	○				
J1-630-10-3E-2	家族法 II					◎		○			
J1-630-11-2E-2	会社法 I						◎		○		
J1-630-12-3E-2	会社法 II							◎		○	
J1-630-13-3E-2	会社法 III							◎		○	
J1-630-14-3E-2	商法 I (総論)					◎	○				
J1-630-15-3E-2	商法 II (証券・決済)							○		◎	
J1-630-16-4E-2	商法 III (商取引・保険)								○	◎	
J1-630-17-3E-2	金融法							○		◎	
J1-630-18-2E-1	民事手続法入門						◎	○			
J1-630-19-3E-2	民事訴訟法 I						○	◎			
J1-630-20-3E-2	民事訴訟法 II							◎	○		
J1-630-21-3E-3	民事執行法・保全法								◎	○	
J1-630-22-3E-3	倒産法								◎	○	
J1-630-23-3E-2	労働法 I								◎	○	
J1-630-24-3E-2	労働法 II							○	◎		
J1-630-25-3E-2	知的財産法 I							○		◎	
J1-630-26-3E-2	知的財産法 II							○		◎	
J1-640-01-2E-2	刑法総論 I						◎	○			
J1-640-02-2E-2	刑法総論 II						◎	○			
J1-640-03-3E-2	刑法各論 I							○	◎		
J1-640-04-3E-2	刑法各論 II							○	◎		
J1-640-05-3E-2	刑事訴訟法 I								◎	○	
J1-640-06-3E-2	刑事訴訟法 II								◎	○	
J1-640-07-4E-2	刑事政策 I								○	◎	
J1-640-08-4E-2	刑事政策 II								○	◎	
J1-650-01-4E-2	法哲学 I							○		◎	
J1-650-02-4E-2	法哲学 II							○		◎	
J1-650-03-3E-2	法制史 I							○	◎		
J1-650-04-3E-2	法制史 II							○	◎		
J1-650-05-3E-2	日本法と外国法					◎		○			
J1-650-06-4E-2	法文化論								◎	○	
J1-660-01-2E-2	国際法 I						◎			○	
J1-660-02-2E-2	国際法 II						◎			○	
J1-660-03-3E-2	国際法 III							○	◎		
J1-660-04-3E-2	国際法 IV							○	◎		
J1-660-05-4E-3	国際経済法							○	◎		
J1-660-06-3E-2	国際私法							○	◎		
J1-670-01-3E-2	政治学 I						○			◎	
J1-670-02-3E-2	政治学 II						○			◎	
J1-670-03-4E-2	政治思想史 I				◎	○					
J1-670-04-4E-2	政治思想史 II				◎	○					
J1-670-05-3E-2	国際政治論 I					○				◎	
J1-670-06-3E-2	国際政治論 II					○				◎	
J1-670-07-4E-2	比較政治論 I					○				◎	
J1-670-08-4E-2	比較政治論 II					○				◎	
J1-670-09-3E-2	地方自治論 I				◎	○					
J1-670-10-3E-2	地方自治論 II				◎	○					
J1-670-11-3E-2	行政学 I						○			◎	
J1-670-12-3E-2	行政学 II						○			◎	
J1-670-13-4E-2	平和学						○			◎	

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)								課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる
		現代をよく生きることに ついて、キリスト教 の教えを踏 まえた考察 ができる	高度な知的 活動に必要な 汎用的諸 技能・能力 及び英語力 を活用でき る	ものごとを 広く多様な 視点から認 識し、異な る認識・思 考方法や価 値観に理解 を示すこと ができる	専攻分野の専門的知識とそれを支える認識や思考の方法を説明できる	法の支配及 び法治主義 を理解し、 立法・司 法・行政と それぞれに 携わる重要 機関の役割 を説明でき る。	主要な法分 野における 基本的な価 値や法原理 を理解し、 それらを身 近な問題解 決に応用す ることがで きる。	日本の主要 な実定法を 体系的に理 解し、それ らの基礎的 な内容を説 明できる。	一般的な法 的問題につ いて、法的 判断に必要 な情報を集 め、それら を整理して 要点を説明 することが できる。	
J1-680-01-1E-1	基礎演習 I							◎	○	
J1-680-02-2E-1	基礎演習 II							◎	○	
J1-680-03-3E-2	演習一部								○	◎
J1-680-04-4C-3	演習二部								○	◎
J1-680-05-4C-3	卒業試験					○	◎			
J1-680-06-3E-2	コース総合演習 A									◎
J1-680-07-3E-2	コース総合演習 B									◎
J1-680-08-3E-2	外国書講読							○		◎
J1-680-09-1E-2	法曹養成実習 I							○	◎	
J1-680-10-2E-2	法曹養成実習 II							○	◎	
J1-680-11-3E-3	法曹養成実習 III							○	◎	
J1-691-01-2E-2	経済原論 I							○		◎
J1-691-02-2E-2	経済原論 II							○		◎
J1-691-03-2E-2	国際経済論 I							○		◎
J1-691-04-2E-2	国際経済論 II							○		◎
J1-691-05-3E-2	財政学 I							○		◎
J1-691-06-3E-2	財政学 II							○		◎
J1-691-07-4E-2	社会保障論 I							○		◎
J1-691-08-4E-2	社会保障論 II							○		◎
J1-691-09-2E-2	海外研究 I							○		◎
J1-691-10-2E-2	海外研究 II							○		◎
J1-691-11-3E-2	法学専門技能					◎	○			
J1-691-12-1E-2	コミュニケーション技能									◎
J1-692-01-3E-2	専門特殊講義						○			◎
J1-701-01-2E-2	日本史要説			◎						
J1-701-02-2E-2	外国史要説			◎						
J1-701-03-3E-2	地誌学概説			◎						
J1-701-04-2E-2	地理学概説			◎						
J1-701-05-2E-2	日本近現代史			◎						
J1-701-06-2E-2	民俗学概論 I			◎						
J1-701-07-2E-2	民俗学概論 II			◎						
J1-701-08-2E-2	江戸から明治へ			◎						
J1-701-09-3E-2	西洋中世史			◎						
J1-701-10-3E-2	西洋近代史			◎						
J1-701-11-3E-2	経営史 I			◎						
J1-701-12-3E-2	経営史 II			◎						
J1-701-13-3E-2	経済史 I			◎						
J1-701-14-3E-2	経済史 II			◎						
J1-702-01-1R-1	現代教職論			◎						
J1-702-02-1R-1	教育基礎論			◎						
J1-702-03-1R-1	教育の制度と経営			◎						
J1-702-04-2R-2	教育心理学			◎						
J1-702-05-2R-2	教育課程論			◎						
J1-702-06-2R-2	道徳教育の理論と方法			◎						
J1-702-07-2R-2	教育の方法と技術			◎						
J1-702-08-2R-2	教育相談の理論と方法			◎						
J1-702-09-2R-2	生徒指導・進路指導の理論と方法			◎						
J1-702-10-2R-3	社会・地理歴史科教育法(概論・理論)			○		◎				
J1-702-11-2R-3	社会・公民科教育法(概論・理論)			○		◎				
J1-702-12-3R-3	社会・地理歴史科教育法(実践)			○		◎				
J1-702-13-3R-3	社会・公民科教育法(実践)			○		◎				
J1-702-14-3E-3	社会・地理歴史科教育法(応用)			○		◎				
J1-702-15-3R-3	社会・公民科教育法(応用)			○		◎				
J1-702-16-3R-3	社会科教育法(発展)			○		◎				
J1-702-17-3R-3	特別支援教育論			○		◎				
J1-702-18-3R-3	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法			○		◎				
J1-702-19-3R-2	介護体験実習			◎						
J1-702-20-4R-3	教育実習 I					○				◎
J1-702-21-4R-3	教育実習 II					○				◎
J1-702-22-4R-3	教職実践演習(中・高)									◎



# 法学部法律学科課程表

2017～2018（平成29～30）年度入学生適用（その1）

※開講学年前期後期欄 { ● - 原則としてその学期で開講。  
 ○○ - 原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。  
 空欄 - 開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												備考				
			1年			2年			3年			4年							
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位					
教養教育科目	T G ベーシック	聖書を学ぶ	半期			2												○	
		キリスト教の歴史と思想	半期			2												○	
		キリスト教学A(キリスト教と倫理)	半期								2							◎	
		キリスト教学B(キリスト教と宗教)	半期							2									
		キリスト教学C(キリスト教と文化)	半期							2									
		キリスト教学D(キリスト教と現代社会)	半期							2									
		市民社会を生きる	半期			2													
		地球社会を生きる	半期						2										
		科学技術社会を生きる	半期						2										
		キャリア形成と大学生活	半期			2													
	シ ッ ク	クリティカル・シンキング	半期								2								
		数理的思考の基礎	半期			2													
		統計的思考の基礎	半期			2													
		科学的思考の基礎	半期					2											
		情報化社会の基礎	半期			2													
		メディア・リテラシー	半期					2											
		読解・作文の技法	半期			2													
		研究・発表の技法	半期					2											
		学 科 教 養 科 目	哲学の基礎	半期	○	○	2												
			芸術論	半期	○	○	2												
	歴史学基礎		半期	○	○	2													
	心理学		半期	○	○	2													
	社会学		半期	○	○	2													
	経営学		半期								2								
	日本国憲法		半期		●	2													
	環境の科学		半期	○	○	2													
	自然の科学		半期	○	○	2													
健康の科学	半期					○	○	2											
文学	半期		○	○	2														
現代の政治	半期			●	2														
文化人類学	半期		○	○	2														
東北地域論	半期					○	○	2											
情報リテラシー	半期		○	○	2														
地理学	半期		○	○	2														
現代の倫理	半期								○	○	2								
社会情勢論	半期									2									
地 域 教 育 科 目	震災と復興	半期	○	○	2														
	地域の課題Ⅰ	半期					●		2								◎		
	地域の課題Ⅱ	半期					●		2										
	地域課題演習	通年									4								
外 国 語 科 目	第 1 類	英語ⅠA	半期	●		1												◎	
		英語ⅠB	半期		●	1												◎	
		英語ⅡA	半期				●		1									◎	
		英語ⅡB	半期					●	1									◎	
	第 2 類	ドイツ語ⅠA	半期	●		2													週2回開講
		フランス語ⅠA	半期	●		2													
		中国語ⅠA	半期	●		2													
		韓国・朝鮮語ⅠA	半期	●		2													
		ドイツ語ⅠB	半期		●	2													
		フランス語ⅠB	半期		●	2													
		中国語ⅠB	半期		●	2													
		韓国・朝鮮語ⅠB	半期		●	2													
	第 3 類	ドイツ語Ⅱ	半期								2								
		フランス語Ⅱ	半期								2								
中国語Ⅱ		半期								2									
韓国・朝鮮語Ⅱ		半期								2									
保 健 体 育 科 目	ベーシック英語	半期	●		1													「ベーシック英語」履修を指示された者は、「ベーシック英語」履修の後に1年後期に開講される「英語ⅠA」を履修すること。ただし「ベーシック英語」と「英語Ⅲ」は進級・卒業単位に含まれない。	
	英語Ⅲ	半期								1									
保 健 体 育 科 目	体育講義	半期																	
	スポーツ実技	通年					●	●	2										



法学部法律学科課程表

2017～2018（平成29～30）年度入学生適用（その2）

※開講学年前期後期欄

● 一原則としてその学期で開講。  
 ○ 一原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。  
 空欄 開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分	科 目 名	開 講 期	開 講 学 年												備 考				
			1 年			2 年			3 年			4 年							
			前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位					
外国人留学生科目	第1類	日本事情 A	半期			2													
		日本事情 B	半期			2													
		日本事情 C	半期			2													
	第2類	日本語 I A	半期	●		1													
		日本語 I B	半期		●	1													
		日本語 II A	半期				●		1										
	日本語 II B	半期					●	1											
専門教育科目	導入科目	法学部生入門	半期	●		2												◎ 4単位選択必修	
		法学の基礎	半期	●		2													
		政策・行政入門	半期		●	2													
	第1類	憲法 I	半期		●	2													
		憲法 II	半期		●	2													
		憲法 III	半期				●		2										
		憲法 IV	半期					●	2										
		行政法総論 I	半期							●		2							
		行政法総論 II	半期								●	2							
		行政法各論 I	半期										●		2				
		行政法各論 II	半期											●	2				
		行政救済法	半期											●	2				
		経済法 I	半期										●		2				
		経済法 II	半期											●	2				
		税法	半期												●	2			
	環境法	半期													●	2			
	社会保障法	半期													●	2			
	第2類	民法総則 I	半期		●	2													
		民法総則 II	半期				●		2										
		物権法 I	半期					●	2										
		物権法 II	半期							●		2							
		債権法総論 I	半期								●	2							
		債権法総論 II	半期									●	2						
		債権法各論 I	半期					●	2										
		債権法各論 II	半期							●		2							
		家族法 I	半期	●		2													
		家族法 II	半期								●	2							
		会社法 I	半期					●	2										
		会社法 II	半期								●	2							
		会社法 III	半期									●	2						
商法 I（総論）		半期								●	2								
商法 II（証券・決済）		半期									●	2							
商法 III（商取引・保険）		半期											●		2				
金融法		半期									●	2							
民事手続法入門		半期						●	2										
民事訴訟法 I		半期								●	2								
民事訴訟法 II		半期									●	2							
民事執行法・保全法		半期										●	2						
倒産法	半期								●	2									
労働法 I	半期								●	2									
労働法 II	半期									●	2								
知的財産法 I	半期								●	2									
知的財産法 II	半期									●	2								



区 分	科 目 名	開 講 期	開 講 学 年												備 考	
			1 年			2 年			3 年			4 年				
			前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位	前 期	後 期	単 位		
教育職員免許状の教科に関する科目	外国語コミュニケーションⅠ	半期				●		1								◇
	外国語コミュニケーションⅡ	半期					●	1								◇
	日本史要説	半期						2								
	外国史要説	半期						2								
	地誌学概説	半期										2				
	地理学概説	半期						2								
	日本近現代史	半期						2								
	民俗学概論Ⅰ	半期				●		2								
	民俗学概論Ⅱ	半期					●	2								
	江戸から明治へ	半期				●		2								
	西洋中世史	半期								●		2				
	西洋近代史	半期									●	2				
	経営史Ⅰ	半期								●		2				
	経営史Ⅱ	半期									●	2				
経済史Ⅰ	半期								●		2					
経済史Ⅱ	半期									●	2					
教職等に関する科目	現代教職論	半期			2											◇
	教育原理	通年	●	●	4											◇
	教育心理学	半期						2								◇
	教育課程論	半期				●		2								◇
	教科教育法Ⅰ(社会・地理歴史)	半期					●	2								◇
	教科教育法Ⅰ(社会・公民)	半期							●		2					◇
	教科教育法Ⅱ(社会・地理歴史)	半期							●		2					◇
	教科教育法Ⅱ(社会・公民)	半期								●		2				◇
	教科教育法Ⅲ(社会・地理歴史)	半期								●		2				◇
	教科教育法Ⅲ(社会・公民)	半期								●		2				◇
	教科教育法Ⅳ(社会)	半期								●		2				◇
	道德教育の理論と方法	半期					●	2								☆
	特別活動の理論と方法	半期									2					◇
	教育方法	半期						2								◇
	教育の相談と指導Ⅰ	半期				●		2								◇
	教育の相談と指導Ⅱ	半期					●	2								◇
	教育実習Ⅰ	通年										●	●	3		◇
	教育実習Ⅱ	通年										●	●	2		☆
教職実践演習(中・高)	半期											●	2		◇	
介護体験実習	通年							●	●	2					☆	

◇印は、教育職員免許状取得に必修。  
☆印は、中学校教諭免許状取得に必修。

## 法律学科卒業要件

### 卒業に必要な最低修得単位数

分 類		単 位 数
教養教育科目	TGベーシック	10
	人間的基礎	10
	知的基礎	10
TGベーシック～学科教養科目 他学部・他大学開講教養教育科目		16
地域教育科目		2
外国語科目 第1類		4
教養教育科目 学科教養科目, 地域教育科目 外国語科目 第2類, 保健体育科目, 他学部・他大学開講非専門教育科目		8
専門教育科目 導入科目		4
専門教育科目 導入科目, 第1類～第9類 他学部・他大学開講専門教育科目		70
合 計		124

## コース別卒業要件

	政策・行政	企業法務	法律専門職
導入科目	4 <sup>注2</sup>	4 <sup>注2</sup>	4 <sup>注2</sup>
第1類	8	4	8
第2類	10	18	16
第3類	4	2	8
第4類			
第5類		6	
第6類	8		
第7類	2 <sup>注3</sup>	2 <sup>注3</sup>	2 <sup>注3</sup>
小計	36	36	38
残り単位数 <sup>注1</sup>	38	38	36

注1 専門教育科目 第8類からは12単位まで算入を認める。また、他学部・他大学開講専門教育科目については20単位まで算入を認める。

注2 導入科目から6単位を取得した場合には、2単位を残り単位数に算入する。

注3 「演習二部」「卒業試験」から選択必修。早期卒業には適用しない。

## コースの選択について

- 1) 2年次の科目登録時に1コースを必ず選択
- 2) コース選択の変更は3年次の科目登録時に可能とする。

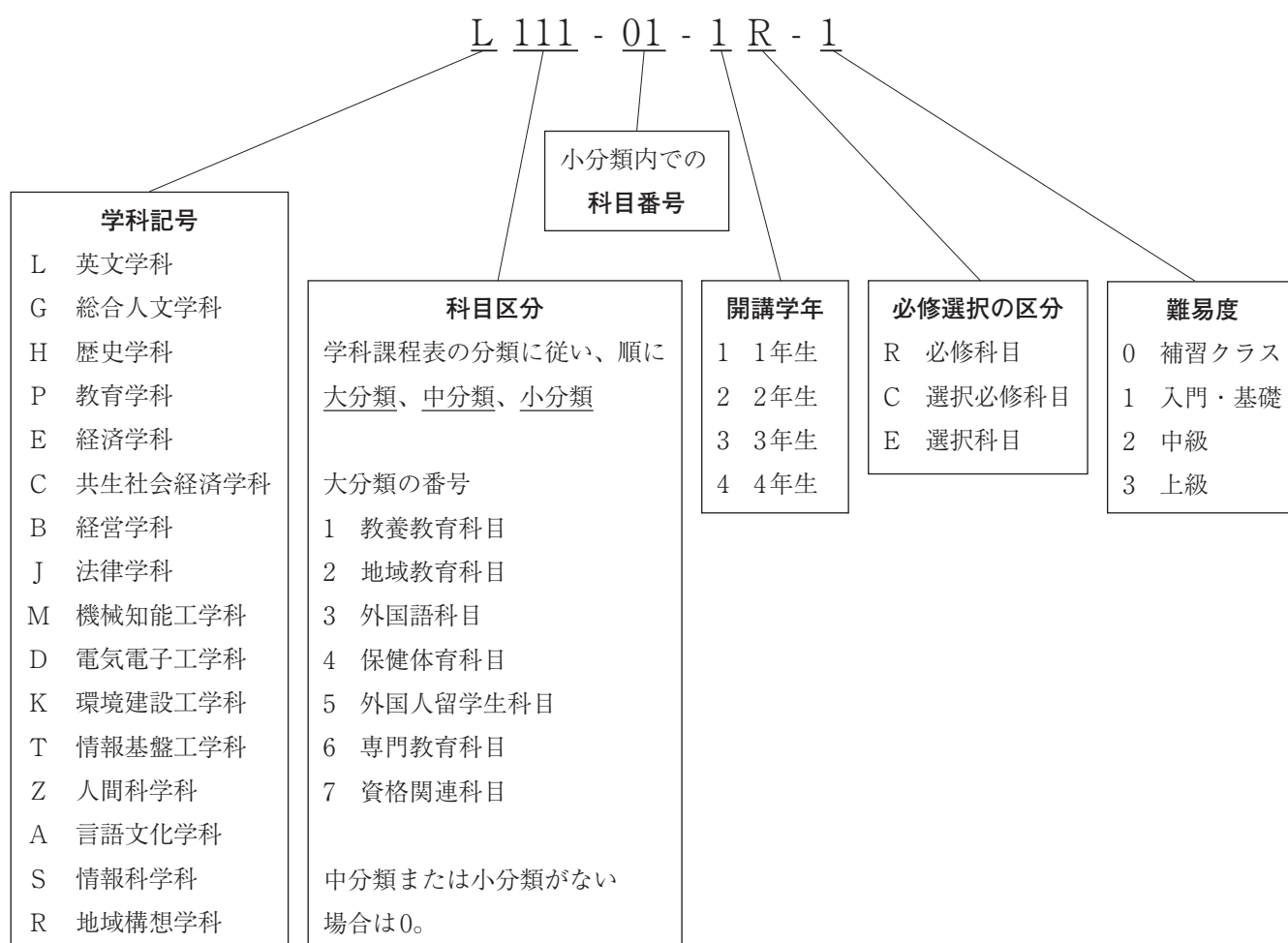
## 〈カリキュラムマップの見方〉

カリキュラムマップは、学科課程表にある各科目が学位授与の方針（ディプロマポリシー）のどれを達成するために置かれているかを示している表です。表の左から「科目ナンバリング」、「科目名」、「学位授与の方針の各項目」の順に並んでおり、学位授与の方針の項目についている◎は「その科目がその方針の達成を最も重視していること」を表し、○は「その科目がその方針の達成を重視していること」を表しています。

科目を履修する際には、カリキュラムマップを参考にして、その科目が大学における学修全体の中でどのような意味・目標をもっているかを理解しておくことが大切です。

## 〈科目ナンバリングの見方〉

科目ナンバリングとは、その科目の性格を端的に示す記号で、以下のような情報から成っています。



法学部 法律学科 カリキュラムマップ (その1)

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)										
		現代をよく生きることに、キリストを踏まえた考察ができる	高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる	ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる	専攻分野の専門的知識とそれを支える認識や思考の方法を説明できる	法の支配及び法治主義を理解し、立法・司法・行政とそれぞれに携わる重要な機関の役割を説明できる。	主要な法分野における基本的な価値や法原理を理解し、それらを用いて身近な問題解決に応用することができる。	日本の主要な実定法を体系的に理解し、それらの基礎的な内容を説明できる。	一般的な法的問題について、法的判断に必要な情報を集め、それらを整理して要点を説明することができる。	法を解釈し適用する際の法的論理を理解し、具体的事実に対して法的判断を導き出すことができる。	新しい社会問題について、法的対応の現状を説明し、あるいは別の新たな法的対応を提案することができる。	課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる
J111-01-1R-1	聖書を学ぶ	◎		○								
J111-02-1R-1	キリスト教の歴史と思想	◎		○								
J111-03-3C-2	キリスト教A (キリスト教と倫理)	◎		○								
J111-04-3C-2	キリスト教B (キリスト教と宗教)	◎		○								
J111-05-3C-2	キリスト教C (キリスト教と文化)	◎		○								
J111-06-3C-2	キリスト教D (キリスト教と現代社会)	◎		○								
J111-07-1E-1	市民社会を生きる			◎								
J111-08-2E-1	地球社会を生きる			◎								
J111-09-2E-1	科学技術社会を生きる			◎								
J111-10-1E-1	キャリア形成と大学生活			◎								
J112-01-3E-1	クリティカル・シンキング		◎	○								
J112-02-1E-1	数理的思考の基礎		◎									
J112-03-1E-1	統計的思考の基礎		◎									
J112-04-2E-1	科学的思考の基礎		◎	○								
J112-05-1E-1	情報化社会の基礎		◎	○								
J112-06-2E-1	メディア・リテラシー		◎	◎								
J112-07-1E-1	読解・作文の技法		◎									
J112-08-2E-1	研究・発表の技法		◎									
J120-01-1E-1	哲学の基礎			◎								
J120-02-1E-1	芸術論			◎								
J120-03-1E-1	歴史学基礎			◎								
J120-04-1E-1	心理学			◎								
J120-05-1E-1	社会学			◎								
J120-06-3E-1	経営学			◎								
J120-07-1E-1	日本国憲法			◎								
J120-08-1E-1	環境の科学			◎								
J120-09-1E-1	自然の科学			◎								
J120-10-2E-1	健康の科学			◎								
J120-11-1E-1	文学			◎								
J120-12-1E-1	現代の政治			◎								
J120-13-1E-1	文化人類学			◎								
J120-14-2E-1	東北地域論			◎								
J120-15-1E-1	情報リテラシー			◎								
J120-16-1E-1	地理学			◎								
J120-17-3E-1	現代の倫理			◎								
J120-18-3E-1	社会情勢論			◎								
J120-19-3E-1	社会情勢論 (サテライト)			◎								
J200-01-1E-1	震災と復興			○								◎
J200-02-2R-1	地域の課題 I											◎
J200-03-2E-1	地域の課題 II											◎
J200-04-3E-2	地域課題演習											◎
J310-01-1R-1	英語 I A	◎		○								
J310-02-1R-1	英語 I B	◎		○								
J310-03-2R-2	英語 II A	◎		○								
J310-04-2R-2	英語 II B	◎		○								
J320-01-1E-1	ドイツ語 I A	◎		○								
J320-02-1E-1	フランス語 I A	◎		○								
J320-03-1E-1	中国語 I A	◎		○								
J320-04-1E-1	韓国・朝鮮語 I A	◎		○								
J320-05-1E-1	ドイツ語 I B	◎		○								
J320-06-1E-1	フランス語 I B	◎		○								
J320-07-1E-1	中国語 I B	◎		○								
J320-08-1E-1	韓国・朝鮮語 I B	◎		○								
J320-09-2E-2	ドイツ語 II	◎		○								
J320-10-2E-2	フランス語 II	◎		○								
J320-11-2E-2	中国語 II	◎		○								
J320-12-2E-2	韓国・朝鮮語 II	◎		○								
J330-01-1E-0	ベーシック英語	◎										
J330-02-3E-3	英語 III	◎										
J400-01-2E-1	体育講義			◎								
J400-02-2E-1	スポーツ実技			◎								
J510-01-1E-1	日本事情 A	◎		○								
J510-02-1E-1	日本事情 B	◎		○								
J510-03-1E-1	日本事情 C	◎		○								
J520-01-1E-1	日本語 I A	◎		○								
J520-02-1E-1	日本語 I B	◎		○								
J520-03-2E-2	日本語 II A	◎		○								
J520-04-2E-2	日本語 II B	◎		○								
J610-01-1C-1	法学部生入門					◎	○					
J610-02-1C-1	法学の基礎					◎	○					
J610-03-1C-1	政策・行政入門					◎	○					

法学部 法律学科 カリキュラムマップ (その2)

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)										
		現代をよく生きることに ついて、キリストの 教えを踏まえた考察 ができる	高度な知的 活動に必要な 汎用的諸 技能・能力 及び英語力 を活用でき る	ものを 広く多様な 視点から認 識し、異な る認識・思 考方法や理 価値観を理 解し示すこ とができる	専攻分野の専門的知識とそれを支える認識や思考の方法を説明できる	法の支配及 び法治主義 を理解し、 立法・司 法・行政と それぞれに 携わる重要 機能の役割 を説明でき る。	主要な法分 野における 基本的な価 値や法原理 を理解し、 それらを身 近な問題解 決に応用す ることがで きる。	日本の主要 な実定法を 体系的に理 解し、それ らの基礎的 な内容を説 明できる。	一般的な法 的問題につ いて、法的 判断に必要 な情報を集 め、それら を整理して 要点を説明 することができる。	法を解釈し 適用する際 の法的論理 を理解し、 具体的事実 に法を適用 して法的判 断を導き出 すことができる。	新しい社会 問題につい て、法的対 応の現状を 説明し、あ るいは別の 新たな法的 対応を提案 することができる。	課題を発見 し、その解 決のために 学修成果を 総合的に活 用できる
J620-01-1E-2	憲法 I				○	◎						
J620-02-1E-2	憲法 II				○		◎					
J620-03-2E-2	憲法 III					○	◎					
J620-04-2E-2	憲法 IV						◎	○				
J620-05-3E-2	行政法総論 I				○		◎					
J620-06-3E-2	行政法総論 II				○			◎				
J620-07-4E-2	行政法各論 I						◎		○			
J620-08-4E-2	行政法各論 II						◎		○			
J620-09-4E-3	行政救済法							◎			○	
J620-10-4E-2	経済法 I							◎	○			
J620-11-4E-2	経済法 II							◎	○			
J620-12-4E-2	税法							◎	○			
J620-13-4E-2	環境法							◎			○	
J620-14-4E-2	社会保障法							◎			○	
J630-01-1E-2	民法総則 I					◎	○					
J630-02-2E-2	民法総則 II					◎		○				
J630-03-2E-2	物権法 I						◎		○			
J630-04-3E-3	物権法 II							◎			○	
J630-05-3E-2	債権法総論 I							◎	○			
J630-06-3E-2	債権法総論 II							◎	○			
J630-07-2E-2	債権法各論 I					◎		○				
J630-08-3E-2	債権法各論 II						◎		○			
J630-09-1E-2	家族法 I					◎	○					
J630-10-3E-2	家族法 II					◎		○				
J630-11-2E-2	会社法 I						◎		○			
J630-12-3E-2	会社法 II							◎			○	
J630-13-3E-2	会社法 III							◎			○	
J630-14-3E-2	商法 I (総論)					◎	○					
J630-15-3E-2	商法 II (証券・決済)							◎			○	
J630-16-4E-2	商法 III (商取引・保険)								◎		○	
J630-17-3E-2	金融法							◎			○	
J630-18-2E-1	民事手続法入門						◎	○				
J630-19-3E-2	民事訴訟法 I						◎		○			
J630-20-3E-2	民事訴訟法 II							◎		○		
J630-21-3E-3	民事執行法・保全法								◎		○	
J630-22-3E-3	倒産法								◎		○	
J630-23-3E-2	労働法 I								◎		○	
J630-24-3E-2	労働法 II								◎		○	
J630-25-3E-2	知的財産法 I								◎		○	
J630-26-3E-2	知的財産法 II								◎		○	
J640-01-2E-2	刑法総論 I						◎	○				
J640-02-2E-2	刑法総論 II						◎		○			
J640-03-3E-2	刑法各論 I							◎			○	
J640-04-3E-2	刑法各論 II							◎			○	
J640-05-3E-2	刑事訴訟法 I							◎		○		
J640-06-3E-2	刑事訴訟法 II							◎		○		
J640-07-4E-2	刑事政策 I								◎		○	
J640-08-4E-2	刑事政策 II								◎		○	
J650-01-4E-2	法哲学 I							◎			○	
J650-02-4E-2	法哲学 II							◎			○	
J650-03-3E-2	法制史 I						◎		○			
J650-04-3E-2	法制史 II						◎		○			
J650-05-3E-2	日本法と外国法						◎		○			
J650-06-4E-2	法文化論							◎			○	
J660-01-2E-2	国際法 I						◎				○	
J660-02-2E-2	国際法 II						◎				○	
J660-03-3E-2	国際法 III							◎			○	
J660-04-3E-2	国際法 IV							◎			○	
J660-05-4E-3	国際経済法							◎			○	
J660-06-3E-2	国際私法							◎			○	
J670-01-3E-2	政治学 I						◎				○	
J670-02-3E-2	政治学 II						◎				○	
J670-03-4E-2	政治思想史 I					◎					○	
J670-04-4E-2	政治思想史 II					◎					○	
J670-05-3E-2	国際政治論 I						◎				○	
J670-06-3E-2	国際政治論 II							◎			○	
J670-07-4E-2	比較政治論 I							◎			○	
J670-08-4E-2	比較政治論 II							◎			○	
J670-09-3E-2	地方自治論 I					◎					○	
J670-10-3E-2	地方自治論 II					◎					○	
J670-11-3E-2	行政学 I						◎				○	
J670-12-3E-2	行政学 II							◎			○	
J670-13-4E-2	平和学							◎			○	
J680-01-1E-1	基礎演習 I							◎		○		
J680-02-2E-1	基礎演習 II							◎		○		
J680-03-3E-2	演習一部								◎		○	
J680-04-4C-3	演習二部								◎		○	
J680-05-4C-3	卒業試験								◎		○	
J680-06-3E-2	コース総合演習 A						◎				○	
J680-07-3E-2	コース総合演習 B							◎			○	
J680-08-3E-2	外国書講読							◎			○	
J680-09-1E-2	法曹養成実習 I								◎		○	
J680-10-2E-2	法曹養成実習 II								◎		○	
J680-11-3E-3	法曹養成実習 III								◎		○	

法学部 法律学科 カリキュラムマップ (その3)

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)							課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる	
		現代をよく生きることに ついて、キリストの 教えを踏まえた考察 ができる	高度な知的 活動に必要な 汎用的諸 技能・能力及び英語力 を活用できる	ものごとを 広く多様な 視点から認 識し、異な る認識・思 考方法や価 値観に理解 を示すこと ができる	専攻分野の専門的知識とそれを支える認識や思考の方法を説明できる	法の支配及び法治主義を 理解し、立法・司法・行政と それぞれに携わる重要な 機関の役割を説明できる。	主要な法分野における 基本的な価値や法原理を 理解し、それらを身近な 問題解決に応用することができる。	日本の主要な実定法を体系的に 理解し、それらの基礎的な 内容を説明できる。		一般的法問題について、法的 判断に必要な情報を集め、 それらを整理して要点を 説明することができる。
J691-01-2E-2	経済原論Ⅰ							○	◎	
J691-02-2E-2	経済原論Ⅱ							○	◎	
J691-03-2E-2	国際経済論Ⅰ							○	◎	
J691-04-2E-2	国際経済論Ⅱ							○	◎	
J691-05-3E-2	財政学Ⅰ							○	◎	
J691-06-3E-2	財政学Ⅱ							○	◎	
J691-07-4E-2	社会保障論Ⅰ							○	◎	
J691-08-4E-2	社会保障論Ⅱ							○	◎	
J691-09-2E-2	海外研究Ⅰ							○	◎	
J691-10-2E-2	海外研究Ⅱ							○	◎	
J691-11-3E-2	法学専門技能						◎	○		
J691-12-1E-2	コミュニケーション技能									◎
J692-01-3E-2	専門特殊講義							○	◎	
J701-01-2R-2	外国語コミュニケーションⅠ		◎							
J701-02-2R-2	外国語コミュニケーションⅡ		◎							
J701-03-2E-2	日本史要説			◎						
J701-04-2E-2	外国史要説			◎						
J701-05-3E-2	地誌学概説			◎						
J701-06-2E-2	地理学概説			◎						
J701-07-2E-2	日本近現代史			◎						
J701-08-2E-2	民俗学概論Ⅰ			◎						
J701-09-2E-2	民俗学概論Ⅱ			◎						
J701-10-2E-2	江戸から明治へ			◎						
J701-11-3E-2	西洋中世史			◎						
J701-12-3E-2	西洋近代史			◎						
J701-13-3E-2	経営史Ⅰ			◎						
J701-14-3E-2	経営史Ⅱ			◎						
J701-15-3E-2	経済史Ⅰ			◎						
J701-16-3E-2	経済史Ⅱ			◎						
J702-01-1R-1	現代教職論			◎						
J702-02-1R-1	教育原理			◎						
J702-03-2R-2	教育心理学			◎						
J702-04-2R-2	教育課程論			◎						
J702-05-2R-2	教科教育法Ⅰ(社会・地理歴史)			◎						
J702-06-2R-2	教科教育法Ⅰ(社会・公民)			◎						
J702-07-3R-2	教科教育法Ⅱ(社会・地理歴史)			◎						
J702-08-3R-2	教科教育法Ⅱ(社会・公民)			◎						
J702-09-3R-2	教科教育法Ⅲ(社会・地理歴史)			◎						
J702-10-3R-2	教科教育法Ⅲ(社会・公民)			◎						
J702-11-3E-2	教科教育法Ⅳ(社会)			◎						
J702-12-2R-2	道徳教育の理論と方法			◎						
J702-13-3R-2	特別活動の理論と方法			◎						
J702-14-2R-2	教育方法			◎						
J702-15-2R-2	教育の相談と指導Ⅰ			◎						
J702-16-2R-2	教育の相談と指導Ⅱ			◎						
J702-17-4R-3	教育実習Ⅰ									◎
J702-18-4R-3	教育実習Ⅱ									◎
J702-19-4R-3	教職実践演習(中・高)									◎
J702-20-3R-2	介護体験実習			◎						